

## 会 告 目 次

会告目次	1
IPSI カレンダー	2
消費税の負担についてのお願い	5
論文賞候補の論文推薦のお願い	5
日本学術会議第 17 期会員の推薦について	6
坂井記念特別賞候補者の募集について	7
研究発表会開催通知	8
第 29 回情報メディア研究会	8
第 70 回ヒューマンインタフェース研究会	8
第 43 回コンピュータと教育研究会	8
第 117 回自然言語処理研究会	9
第 107 回人工知能研究会	10
第 62 回情報システム研究会	10
第 111 回データベースシステム研究会	10
第 55 回アルゴリズム研究会	11
第 11 回プログラミング研究会	12
第 103 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	12
第 11 回数理解モデル化と問題解決研究会	13
第 33 回人文科学とコンピュータ研究会	13
第 80 回マルチメディア通信と分散処理研究会	} 合同
第 21 回グループウェア研究会	
第 5 回デジタル・ドキュメント研究会	15
平成 9 年度の研究会について	18
モバイルコンピューティング研究会」発足のお知らせ	19
情報処理学会「行事」申込書	20
1997 年情報学シンポジウム」参加者募集	21
連続セミナー 96 参加者募集	22
インタラクション '97」参加者募集	23
分散システム運用技術シンポジウム '97」参加者募集	24
オブジェクト指向 '97 シンポジウム」論文募集	25
ADS 97 参加者募集	26
情報処理学会「書籍」申込書	28
工学系学部における専門基礎としての情報処理教育の実態に関する調査研究報告書」頒布のお知らせ	29
員の皆様へのお知らせ・お願い	30
部だより	31
材募集	33
議案内	29, 32

## IPSJ カレンダー

★：共催

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
★第83回グラフィクスとCAD研究会	会津大	平成8年 12月19日(木) ～20日(金)	当日のみ	37-11 9p	研
第38回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成9年 1月8日(水) ～10日(金)	平成8年 11月29日(金)	37-11 16p	事
第29回情報メディア研究会	北大	1月10日(金)	当日のみ	37-12 8p	研
第70回ヒューマンインタフェース研究会	早大	1月16日(木)	当日のみ	37-12 8p	研
★1997年情報学シンポジウム	日本学会会議講堂	1月16日(木) ～17日(金)	12月20日(金)	37-12 21p	研
第43回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	1月17日(金)	当日のみ	37-12 8p	研
第117回自然言語処理研究会	ジャストシステム	1月20日(月) ～21日(火)	当日のみ	37-12 9p	研
第107回人工知能研究会	阪大	1月21日(火)	当日のみ	37-12 10p	研
第62回情報システム研究会	情報処理学会	1月21日(火)	当日のみ	37-12 10p	研
第111回データベースシステム研究会	神戸国際交流協会	1月21日(火) ～22日(水)	当日のみ	37-12 10p	研
第55回アルゴリズム研究会	広島大	1月23日(木)	当日のみ	37-12 11p	研
★第11回プログラミング研究会	電通大	1月23日(木) ～24日(金)	当日のみ	37-12 12p	研
第103回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	京大	1月23日(木) ～24日(金)	当日のみ	37-12 12p	研
ウインターワークショップ・イン・松山	ホテル大和屋	1月23日(木) ～24日(金)	11月8日(金)	37-9 30p	研
第11回数理モデル化と問題解決研究会	広島大	1月24日(金)	当日のみ	37-12 13p	研
第33回人文科学とコンピュータ研究会	九工大	1月24日(金)	当日のみ	37-12 13p	研
連続セミナー96 パーソナルコンピューティングの技術と利用者	工学院大	1月24日(金)	定員になり次第	37-12 22p	事
第80回マルチメディア通信と分散処理研究会	愛媛大	1月30日(木) ～31日(金)	当日のみ	37-12 14p	研
第21回グループウェア研究会	愛媛大	1月30日(木) ～31日(金)	当日のみ	37-12 14p	研
★第5回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	1月31日(金)	当日のみ	37-12 15p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
インタラクシオン '97	東大	2月4日(火) ～5日(水)	平成9年 1月21日(火)	37-12 23p	研
分散システム運用技術シンポジウム '97	電通大	2月6日(木) ～7日(金)	1月20日(月)	37-12 24p	研
情報処理学会第54回全国大会	千葉工大	3月12日(水) ～14日(金)	当日可	37-11 19p	事
連続セミナー 96 電子商取引の現状と将来	工学院大	3月28日(金)	定員になり次第	37-12 22p	事
平成9年電気・情報関連学会連合大会	日本学術会議講堂	8月22日(金)		38-6 掲載予定	事
情報処理学会第55回全国大会	福岡工大	9月24日(水) ～26日(金)	当日可	37-11 15p	事
日本学術会議第17期会員の推薦	—	—	平成8年 12月25日(水)	37-12 6p	総
坂井記念特別賞候補者の募集	—	—	平成9年 1月14日(火)	37-12 7p	総
論文賞候補の論文推薦	—	—	1月31日(金)	37-12 5p	編

## 【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
Asia and South Pacific Design Automation Conference 1997 (ASP-DAC '97)	幕張メッセ	平成9年 1月28日(火) ～31日(金)	事務局	37-11 20p	国
第1回ワールドワイドコンピューティング国際会議	つくばエキスポセンター、筑波第一ホテル	3月10日(月) ～11日(火)	事務局	37-10 24p	国
The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS 97)	ベルリン(ドイツ)	4月9日(水) ～11日(金)	事務局	37-12 26p	国

## 【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
北陸支部 平成8年度北陸地区学生による研究発表会	福井高専	3月12日(水)	平成9年 2月21日(金)	37-10 32p	陸
九州支部 第11回九州支部研究会	九工大	3月17日(月)	1月31日(金)	37-12 31p	九
1997年並列処理シンポジウム(JSPP '97)	神戸市産業振興センター	5月28日(水) ～30日(金)	平成8年 12月16日(月)	37-10 25p	研
オブジェクト指向 '97 シンポジウム	タイム24ビル	7月2日(水) ～4日(金)	平成9年 2月14日(金)	37-12 25p	研
論文誌特集号 「マルチメディア分散・協調コンピューティング」	—	—	5月12日(月)	37-10 24p	編

## 【支 部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
★中国支部 講習会	中国電力	平成8年 11月15日(金)	定員になり次第	37-10 33p	中
北陸支部 講演会	金沢工大	11月18日(月)	—	37-11 25p	陸
四国支部 講演会	高松高専	11月22日(金)	—	37-10 33p	四
関西支部 平成8年度第1回関西支部セミナー	中央電気倶楽部	11月25日(月)	—	37-9 34p	西
九州支部 講習会	福岡ソフトリサーチパークセンタービル	11月29日(金)	11月15日(金)	37-10 33p	九
東海支部 講演会	三重大	平成9年 1月22日(水)	—	37-12 31p	海
四国支部 講習会「ソフトウェア開発の現状と将来」	愛媛大	1月22日(水)	—	37-12 31p	四

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係, 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

## 消費税の負担についてのお願い

理 事 会

## [お願い]

平成9年度分から入会金、会費、賛助会費を除く研究会への登録料、学会行事への参加費、学会出版物の価格等のすべてについて、消費税相当額を外税として負担していただくことにいたします。なお、万一、消費税率が3%にとどまった場合でも、外税で3%相当を負担していただくことにいたします。この結果、会員の皆様のご負担が増加することとなり、まことに心苦しいことですが、学会としても引き続き経費削減に努めてまいりますので、会員各位におかれましては、どうか下記事情をご理解いただきまして、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

## [お願いの背景]

ご承知の通り、平成9年度から消費税がこれまでの3%から5%に引き上げられる予定となっています。それと同時に簡易課税の適用限度額が課税収入4億円から2億円に引き下げられます。学会の収入のうち入会金、会費、賛助会費は課税対象外ですが、これらを除く当学会の課税売上は3億円を上回っておりますので（基準となる平成7年度）、従来の簡易課税方式が適用できなくなり、いわゆる本則課税方式が適用されることとなりました。簡易課税方式が適用されないということは、「みなし仕入率（70%）」が適用できないなど学会にとって税負担が著しく増えることとなります。

学会では、これまで印刷費の削減や諸経費の節減をはかりつつ対応してまいりました。その結果、学会誌、論文誌、研究会などにおいては、関係者のご協力もあって著しい収支の改善をみており、学会財務全体としてもほぼ均衡予算を計上することができるようになっております。このため、これまでの3%の消費税は会員の皆様に負担していただくことなく、こうした学会内部の努力で吸収してまいりました。

しかし、このたびの消費税の改訂により、売上にかかる消費税（会議参加費や出版物の売上収入にかかる消費税）が増加し、これに伴い、当学会の納付する消費税額（売上消費税から仕入消費税を差し引いたもの）は、「みなし仕入率」が適用されないこともあって、約700万円（消費税率5%の場合）と、これまでの消費税納付額（約160万円）に比べて著しく増加する見込みです。これに加えて、印刷費や諸経費が、消費税引き上げに伴って上昇するため、学会の負担額は両者合わせて大幅に増加することが見込まれます。

以上が今回消費税の負担を会員各位にお願いする理由です。

以 上

## 論文賞候補の論文推薦のお願い

論文誌編集委員会

平成8年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本学会論文賞係宛お送りください。

## [論文賞選定条件]

## 選定範囲および推薦数

平成7年10月から平成8年9月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol.36 No.10～Vol.37 No.9)に発表された論文の中から1編。

推薦資格 本学会正会員に限ります。

締 切 日 平成9年1月31日（金）

## 表 彰 規 程 ( 抜 粋 )

## 第3章 論文賞

第9条 論文賞は、本学会の機関誌に発表された論文およびテクニカルノート（以下テクニカルノートを含め論文という）のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第10条 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。

第11条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。

第12条 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。

第13条 論文賞は同一著者に重ねて授与しても差支えない。

第14条 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文1編につき50,000円とする。

## 日本学術会議第 17 期会員の推薦について

日本学術会議会員は、各学会が推薦した候補者のうちから選定されます。今回は第 17 期会員の候補者を推薦することとなります。

つきましては、下記の要領により、同会員の候補者として適当な方のご推薦をお願いいたします。

なお、ご推薦いただいた候補者につきましては、理事会で選定のうえ、本会の会員候補者として日本学術会議に推薦します。

### 記

1. 日本学術会議法による学術会議会員の候補者の資格等

(1) 日本学術会議会員は、

- ・その専門とする科学または技術の分野において 5 年以上の研究歴を有し、当該分野における優れた研究または業績がある科学者でなければならない。
- ・会員の任期は 3 年とし、通じて 9 年を超えて在任することができない。ただし、任期の途中において 9 年に達したときは、その任期の終了するまでの間、在任することができる。
- ・日本国籍を有しなければならない。

(2) 日本学術会議会員候補者は、

- ・登録学術研究団体が、その構成員である科学者のうちから選定する。

(本会は登録学術研究団体)

2. 推薦者の資格

本会正会員に限る。

3. 推薦候補者数

情報工学（第 5 部）、情報学（第 4 部）、電子・通信工学（第 5 部）について、本会正会員の中から各 1 名以内。

4. 推薦方法

下記の推薦用紙に所定の事項を記入し、本会事務局長あてに郵送すること。

5. 推薦締切日 平成 8 年 12 月 25 日（水）

.....き り と り.....

### 第 17 期日本学術会議会員の候補者推薦用紙

候補者氏名 (所属機関・職名)	情報工学（第 5 部）	
	情報学（第 4 部）	
	電子・通信工学（第 5 部）	
推薦者 住所・氏名  (連絡先電話番号)	正会員  -----	

## 坂井記念特別賞候補者の募集について

第5回（平成8年度）坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に携わっている研究・開発者で、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる39歳（平成9年3月末現在）までの研究・開発者を対象といたします。なお、過去に応募された方の再応募も可能です。

賞の候補者を推薦される方は、下記の「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、本学会事務局まで「坂井記念特別賞候補者推薦書」用紙をご請求ください。

### 第5回（平成8年度）

### 坂井記念特別賞候補者推薦要領

- 対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。
- 候補者の対象  
情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で39歳（平成9年3月末現在）までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人または、共同研究・開発の場合は、その代表者とする。
- 推薦者 本学会正会員とする。
- 推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当学会あて1部を提出する。
- 推薦締切日 平成9年1月14日（火）必着とする。
- 選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け、候補者4名以内を選定し、理事会において決定する。なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合があります。
- 賞の贈呈 平成9年5月の第39回通常総会で表彰（賞状および賞金30万円を贈呈）

注）これまでの受賞者等の情報を学会のホームページに掲載していますので、あわせてご覧ください。

この賞の候補者を推薦される方は、下記あて推薦用紙をご請求ください。

#### 推薦書用紙請求先・提出先・照会先

（社）情報処理学会 坂井記念特別賞担当係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:somu@ipsj.or.jp

<http://www.ipsj.or.jp>

## 研究発表会開催通知

(平成9年1月10日～1月31日)

### ◆第29回 情報メディア研究会

(発表件数：5件)

(主査：田中 譲，幹事：小澤英昭，平山智史，広瀬 真)

日時 平成9年1月10日(金) 10:00～17:00

会場 北海道大学 工学部 知識メディア・ラボラトリ コラボレーション・ルーム 2F

[札幌市北区北13条西8丁目。地下鉄(南北線)：北12条下車，徒歩10分。北大北13条門より入構し工学部正面入口よりお入りください。Tel.(011)706-7250]

#### 議題

[10:00～12:00]

- (1) メディア演出WWWブラウザ“WebStage” 山口智治，細見 格，宮下敏昭 (NEC)  
(2) 直感的な音データ検索・編集システムの開発 和氣早苗，旭 敏之 (NEC)

[12:45～16:30]

- (3) 見学会 (12:45～13:20)  
(4) 拡張トランザクションモデルに基づくサービス連携方式 藤村 考，寺田雅之 (NTT)  
(5) メディアオブジェクトのフローに基づくサービス連携方式 大嶋嘉人 (NTT)，田中 譲 (北大)  
(6) 建物メタファを採用した仮想空間インタフェース 原 雅樹，神谷俊之，宮井 均 (NEC)

### ◆第70回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：10件)

(主査：竹林洋一，幹事：来住伸子，浜田 洋，山本吉伸)

日時 平成9年1月16日(木) 9:30～16:00

会場 早稲田大学 理工学部 55号館N棟 1F 大会議室

[東京都新宿区大久保3-4-1。JR(山手線)もしくは地下鉄東西線：高田馬場下車，徒歩10分。またはJR(山手線)：新大久保下車，徒歩15分。Tel.(03)3204-7177(澤田)]

#### 議題 小特集：ネットワーク環境のユーザインタフェース

[9:30～11:45]

- (1) ユーザプロフィール管理エージェントの提案と試作 神場知成，Laurent Frelechoux (NEC)  
(2) WWWナビゲーションのためのグラフィカルブラウザの開発 島村 栄，久保信也，高野 元 (NEC)  
(3) ユーザの利用履歴に基づくWWWサーバの地図型ディレクトリ 早川和宏，福永博信，鈴木達郎 (NTT)  
(4) ビデオゲーム技術のデスクトップ会議システムへの応用 吉田 力，中西英之，西村俊和，石田 亨 (京大)

[12:30～16:00]

- (5) 画質多重伝送方式によるインターネット動画サーバとビューア 山本吉伸，仁木和久 (電総研)  
(6) HDTV視線一致端末を用いた仮想空間協同作業 広明敏彦，國枝和雄 (通信・放送機構)  
(7) 状況認識に基づくファイル管理システム 水本誠一，平川正人，市川忠男 (広島大)  
(8) I18N Drawing Functions for a Text Containing All Characters/Languages in the World 上園一知，大矢俊夫，片岡朋子，片岡 裕，小原啓義 (早大)  
(9) 電子メールの整理検索における情報視覚化技術の利用 工藤正人，田中みどり，古関義幸 (NEC)  
(10) 印象語による文書作成支援システムの提案

石場正大 (三洋電機)，池田尚志 (岐阜大)，菅井隆史，武村浩司 (三洋電機)

\*研究会終了後(16:00～17:00)，早稲田大学応用物理学科橋本研究室，ヒューマノイド研究室他見学を予定しております。

### ◆第43回 コンピュータと教育研究会

(発表件数：4件)

(主査：大岩 元，幹事：河合和久，河村一樹，神津陽一)

日時 平成9年1月17日(金) 13:00～18:00

会場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F。JR(山手線，京浜東北線)：田町(東口)下車，徒歩7分。または地下鉄(浅草線，三田線)：三田下車，徒歩10分。Tel.(03)5484-3535]

#### 議題

- (1) 初等力学を対象とした作図の診断システム 小出 誠，平嶋 宗，柏原昭博，豊田順一 (阪大)  
(2) 能動的学習を支援するためアルゴリズムアニメーションの拡張法に関する考察



- (3) IT教育のためのコンピュータ・モデル 井上勝行(阪大), 魚井宏高(阪大), 首藤 勝(阪大)  
 武井恵雄(帝京大), 丸山健夫(武庫川女子大)  
 (4) ネットワークを利用した教育への提言—小学生の科学教育実践より— 美馬のゆり(川村学園女子大)  
 (5) パネル討論: 小中高一貫情報教育カリキュラムの構成 司会: 岡本敏雄(電通大)  
 パネリスト: 西之園春夫(鳴門教育大), 大岩 元(慶大), 永野和男(静岡大)  
 市川伸一(東大), 中村直人(東京学芸大)

## ◆第117回 自然言語処理研究会

(発表件数: 24件)

(主査: 新田義彦, 幹事: 丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成9年1月20日(月) 9:30~17:00

21日(火) 9:30~17:00

会 場 ジャストシステム 東京研究所 カンファレンスルーム

[東京都港区北青山1-2-3 青山ビルディング7F. 地下鉄(銀座線, 半蔵門線): 青山1丁目下車, 1番出口を出て信濃町方面へ30m. Tel.(0886)55-6000 (藤田澄男)]

## 議 題

1月20日(月)

## [9:30~11:30] ●言語理論・言語分析・コーパス分析

- (1) Head gapping in Japanese relative clauses Timothy Baldwin, 田中穂積, 徳永健伸(東工大)  
 橋本利典, 島田静雄(埼玉大)  
 (2) 外国人の書いた文章の助詞使用誤りの抽出  
 (3) ロシア語日本語両言語の動詞の変化の比較 Alexander Vasilievich Belov, 島田静雄(埼玉大)  
 (4) 知的ニュースリーダが対象とする対話型ネットニュースの特徴 小作浩美, 内元清貴, 井佐原均(通信総研)

## [12:30~14:30] ●辞書・コーパスからの知識獲得・学習

- (5) 機械可読辞書の見出しについて 田中康仁(兵庫大)  
 (6) ギャップのある ngram による言回しの抽出 國吉芳夫, 中西正和(慶大)  
 (7) 意味分類の言語学的構成法と WWW 上のシソーラス構築 緒方典裕(筑波大), 橋本三奈子(IPA)  
 (8) 遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による機械翻訳手法(GA-ILMT)における翻訳例を利用した淘汰処理の精度向上 越前谷博(北大), 荒木健治(北海学園大), 宮永喜一, 柄内香次(北大)

## [15:00~17:00] ●解析

- (9) 保守性を考慮した日本語形態素解析システム 淵 武志(NTT)  
 (10) 複数の接続表の制約のLR表への組み込み—LR表工学(2) 綾部寿樹, 徳永健伸, 田中穂積(東工大)  
 (11) HPSG パーサの並列化に向けて 二宮 崇, 鳥澤健太郎, 辻井潤一(東大)  
 (12) 統計的手法を用いた係り受け解析 藤尾正和, 松本裕治(奈良先端大)

1月21日(火)

## 9:30~11:30] ●自動分類

- (13) 分類視点の学習機能を持つ情報自動分類システム 宮崎哲夫, 田中栄治, 古城則道(学習情報通信システム研究所)  
 (14) シソーラスを用いた文書データの自動分類法 塩見隆一, 徳田克己, 青山昇一, 柿ヶ原康二(松下電器産業)  
 (15) 文書・単語分類のための相互クラスタリング法 森脇 敏, 辻井潤一(東大)  
 (16) 最良パス探索を用いた凝集型クラスタリングアルゴリズム 本田岳夫, 奥村 学(北陸先端大)

## [12:30~14:30] ●情報検索・情報抽出

- (17) 日本語マニュアルの内容検索システム 松崎知美, 三浦健仁, 小俣祐介, 山田剛一, 森 辰則, 中川裕志(横浜国大)  
 (18) 見出しを利用した新聞・レポートからのダイジェスト情報の抽出 仲尾由雄(富士通研)  
 (19) 表層の手がかりによる六法全書法律文での要件部・効果部の抽出手法 角田彦彦, 清水 仁, 長尾 真(京大)  
 (20) 語彙的連鎖を利用した文書検索 望月 源, 本田岳夫, 奥村 学(北陸先端大)

## [15:00~17:00] ●システム

- (21) 名詞の文書内頻度を利用したテキストセグメンテーション 西澤信一郎, 中川裕志(横浜国大)  
 (22) 校正支援システム Joyner における表記誤りの自動訂正方式 伊吹 潤, 徐 国偉, 齊藤孝広, 松井くにお(富士通研)  
 (23) 電子メールを用いた日本語文による質問応答システムにおける類似質問の抽出について 堤 豊(九州帝京短大), 牛島和夫(九大)  
 高山泰博, 伊藤山彦, 鈴木克志(三菱電機)

- (24) 自然言語事例ベース検索の設計支援への適用

◆第107回 人工知能研究会

(発表件数：5件)

(主査：中島秀之，幹事：有馬 淳，加藤 浩，橋田浩一)

日 時 平成9年1月21日(火) 10：40～15：30

会 場 大阪大学 産業科学研究所 講義室

[茨木市美穂ヶ丘8-1. JR 新大阪駅から地下鉄(御堂筋線)：千里中央下車，阪急バス(阪大本部行)：終点(15分)下車，徒歩15分。\*会場詳細は<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp>をご参照ください，Tel.(06)879-8422(桂田)]

議 題

[10：40～12：00]

- (1) 完全・不完全ルールの使用頻度を考慮した知識洗練化 桂田浩一，大原剛三，馬場口登，北橋忠宏(阪大)  
(2) テキストからの数学知識の獲得 北村輝夫，鈴木淳之(静岡大)

[13：30～15：30]

- (3) 議論への参加者の自己関与状態のモデル化に関する研究 稲葉晶子，岡本敏雄(電通大)  
(4) 学習者モデルの局所的解釈による理解状態の認識手法について 松田 昇，岡本敏雄(電通大)  
(5) 作業の順序性に基づくノウハウを獲得し利用する“インテリジェントワークフローシステム”の開発 佐々木幹郎，御宿哲也，高野 啓，田中 聡，前田あきら(三菱電機)

\* 20日には人工知能学会(知識ベースシステム研究会)，22日には電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)が同じ場所で開催されます。

◆第62回 情報システム研究会

(発表件数：6件)

(主査：黒川恒雄，幹事：阿部昭博，魚住 董，内木哲也)

日 時 平成9年1月21日(火) 13：00～17：15

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議 題 特集：流通分野の情報システム(分野別情報システムシリーズ)

- (1) セブン-イレブンの経営戦略と情報システム 碓井 誠(セブン-イレブン・ジャパン)  
(2) ジャスコ/イオングループのECへの取り組み 駒田敬志(ジャスコ)  
(3) 伊勢丹におけるマーチャндаイジングシステムへの取り組み 藤原春樹(伊勢丹)  
(4) ヨドバシカメラにおける価値創造型経営へのBPR 栗山 豊(ヨドバシカメラ)  
(5) FAXを活用した自動採点システムの実践 野津恵二(産業教育センター)  
(6) 流通業におけるEDIへの取り組み 佐藤 誠(流通システム開発センター)

◆第111回 データベースシステム研究会

(発表件数：17件)

(主査：田中克己，幹事：有川正俊，石川 博，原嶋秀次)

日 時 平成9年1月21日(火) 13：00～17：00

22日(水) 10：00～17：00

会 場 神戸国際交流協会 神戸国際会議場 5F 会議室

[神戸市中央区港島中町6-9-1. JR(東海道線)：三宮下車，ポートルライナー：市民広場駅下車すぐ。Tel.(078)302-5200]

議 題 特集：映像データベース，および一般

1月21日(火)

[13：00～17：00] ●一般

- (1) 動的再構成が可能な分散オブジェクトシステムを支援するORBに関する考察 山崎顕治，都司達夫，宝珍輝尚(福井大)  
(2) 階層構造グラフを用いた半構造化データの段階的構造化手法に関する検討 森下淳也(姫路獨協大)，上島紳一(関西大)，大月一弘(神戸大)，杉山武司(姫路獨協大)  
(3) 分散環境における仮説生成による問合せ機能の拡張 萬上 裕，黒田 崇，横田一正(京大)  
(4) 不完全情報を用いた関係モデルにおける新たな更新操作の提案 那須紀雄，石井直宏(名工大)  
(5) 長期トランザクションでのチェックイン・チェックアウトの自動化と短期トランザクションの実行順序の保障方式 鬼塚 真，磯部成二(NTT)  
(6) 通信量を考慮したデータウェアハウスの更新反映処理 粕川雄也，中西通雄，橋本昭洋(阪大)  
(7) CSとイントラネットとの融合を指向したハイパーメディア型文書情報管理システム 窪野哲光(東京電力)

1月22日(水)

[10：00～12：00] ●映像データベース(1)

- (8) 動画データベースにおける状況概念の検索 細田祐一, 吉高淳夫, 平川正人, 市川忠男 (広島大)  
 (9) 映画の文法に基づくビデオ画像の内容検索 石井孝和, 吉高淳夫, 平川正人, 市川忠男 (広島大)  
 (10) 時刻印付きノードリンクグラフによる映像のデータベース化に関する研究  
 是津耕司 (通信・放送機構), 上原邦昭, 田中克己 (神戸大), 木邑信夫 (通信・放送機構)  
 (11) 版權管理のためのJavaによる画像データカプセル化に関する研究  
 木俣 豊 (通信・放送機構), 田中克己, 上原邦昭 (神戸大)

[13 : 00 ~ 14 : 00] ●見学

(12) 見学: 通信・放送機構神戸リサーチセンター, および神戸マルチメディアテクノラボ

[14 : 00 ~ 17 : 00] ●映像データベース (2)

- (13) 動画を対象とする内容検索方式 加藤光幾, 石川 博 (富士通研)  
 (14) 映像データベースのための被写体形状の取得 林 路彦, 富井尚志, 有澤 博 (横浜国大)  
 (15) 映像データベースにおける検索加工表示システムのWWW上での実装 春日史朗, 有澤 博 (横浜国大)  
 (16) シーン属性に基づいた部品検索によるVRML空間の生成に関する研究  
 遠近宣夫, 銭 晴 (通信・放送機構), 五十川尚 (大和ハウス工業), 田中克己 (神戸大)  
 (17) VRMLオブジェクトの論理構造に基づく抽象化による検索および再利用に関する研究  
 山田秀秋, 木邑信夫 (通信・放送機構), 田中克己 (神戸大)  
 (18) 防災情報通信ネットワークにおける時空間型マルチメディアデータベースの構成について  
 西村知也, 中田幸男 (通信・放送機構), 田中克己 (神戸大)

◆第55回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 浅野孝夫, 幹事: 阿久津達也, 今井桂子, 半田恵一)

日 時 平成9年1月23日(木) 11:00 ~ 17:30

会 場 広島大学 大学会館 大集会室

[東広島市鏡山1-4-5. JR(新幹線): 東広島下車, または(山陽線): 西条下車, バス(広島大学行, 本数僅少): 大学会館前下車. \*会場詳細は <http://www.infonets.hiroshima-u.ac.jp/~taoka/ipsj/index.html> をご参照ください. Tel.(0824)24-7666 (田岡)]

議 題

[11:00 ~ 12:00]

- 1) 単純指標を持つ乱順列の高速生成法 二村良彦, 大谷啓記, 青木健一 (早大)  
 2) スターグラフにおける耐故障適応分散ルーティングアルゴリズム  
 楽 強 (阪大), 榎原博之 (関西大), 中野秀男 (阪市大), 前田 肇 (阪大)

[13:00 ~ 17:30]

- 3) Combinatorial Optimization Games  
 Xiaotie Deng (York Univ.), Toshihide Ibaraki, Hiroshi Nagamochi (Kyoto Univ.)  
 4) 充足解探索問題の難しい例題生成手法について 堀江 聡 (東工大)  
 5) A Primal-Dual Approximation of Node-Deletion Problems for Matroidal Properties 藤戸敏弘 (広島大)  
 6) Drawing a Rectangular Dual to meet Prescribed Constraints  
 Tadafumi Matsumoto, Kenji Mizuno, Toshimasa Watanabe (Hiroshima Univ.)  
 7) On the time analysis of watchman route algorithms 譚 学厚 (東海大), 平田富夫 (名大)  
 8) 点集合の距離重複度列のノルムと最大部分集合問題 阿久津達也 (東大), 玉木久夫, 徳山 豪 (日本IBM)  
 9) 曲線上に配置された母点に対する平均線形時間ボロノイ図構成法 山田和公, 杉原厚吉 (東大)  
 10) 車両配送問題のタブー探索による解法の実験的解析  
 中出元樹, 朴 成浩, 今井 浩 (東大), 西村茂樹, 下浦 弘, 天目健二 (住友電工)

・24日(金)に同会場で数理モデル化と問題解決研究会(後記参照)が開催されます。

・23日の研究会終了後、数理モデル化と問題解決研究会との合同の懇親会を予定しています。参加希望者はできるだけ事前に田岡 (taoka@infonets.hiroshima-u.ac.jp) まで、ご連絡ください。

◆第11回 プログラミング研究会

(発表件数：10件 (11月8日現在))

(主査：石畑 清，幹事：上田和紀，寺田 実，萩谷昌己)

日 時 平成9年1月23日(木) 9:00～17:00(予定)  
24日(金) 9:00～17:00(予定)

会 場 電気通信大学 西9号館 3F AVホール

[東京都調布市調布ヶ丘1-5-1. 新宿駅より京王線：調布(北口)下車(特急・急行・快速にて約20分)，徒歩約10分. Tel.(0424)83-2161]

議 題 特集：並列・分散処理，および一般

●特集：並列・分散処理

1月23日(木)

- (1) 擬データと関数による並行プロセス群の記述 石井裕一郎(東大)
- (2) モバイルプロセスの失敗例意味論を用いた等価性判別 伊藤純純，村上昌己(岡山大)
- (3) 並行オブジェクト指向言語 COOL の開発 金村星吉，上田賀一(茨城大)
- (4) 粒度更新可能な拡張データフローモデル 久野英治(能開大)，濹澤 進，小林正樹(茨城大)
- (5) 分散メモリ実装におけるデータフロー言語の構造データ管理方式 稲永健太郎，日下部茂，雨宮真人(九大)
- (6) 自律分散動画像サーバーの構築 前田利之，荒川 博，栄藤 稔(松下電器)
- (7) 分散メモリ並列プロセッサおよびネットワーク接続ワークステーションにおけるパイプラインガウスザイデル法による偏微分方程式の並列解法 清水尚彦(東海大)

●一般発表

1月24日(金)

- (8) 手続き型言語での再帰の除去について 北川 拓，渡辺 坦(電通大)
- (9) ファーストクラスな環境に対する演算 西崎真也(千葉大)
- (10) On the Church-Rosser Property of Depth-Preserving Term Rewriting Systems

Hiroshi Gomi (Mie Univ./Oki TechnoSystems Lab.Inc.)，Michio Oyamaguchi，Yoshikatsu Ohta (Mie Univ.)

\*特集は電子情報通信学会(コンピュテーション研究会，ソフトウェアサエンス研究会)と共催。

\*上記プログラムは暫定的なもので，開催時間および共催研究会への申込み分を含めた最終プログラムは電子情報通信学会誌(12月号)をご覧ください。

◆第103回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

(発表件数：18件)

(主査：松山隆司，幹事：喜多伸之，久野義徳，森島繁生)

日 時 平成9年1月23日(木) 10:00～18:00  
24日(金) 9:20～17:00

会 場 京都大学 工学部 10号館 4F 第2講義室

[京都市左京区吉田本町. JR 京都駅より市バス(17系統)：農学部前(40分)下車，または，地下鉄：今出川(約10分)下車(2番出口)，バス(203系統錦林車庫行)：農学部前(約10分)下車，徒歩2分. Tel.(075)753-5998(亀田能成)，5995(美濃導彦). \*会場詳細は <http://www.imel1.kuis.kyoto-u.ac.jp/minoken.intro/address-j.html> をご参照ください.]

議 題

1月23日(木)

[10:00～11:45]

- (1) 両眼映像の干渉処理によるRDSからの曲面の再構築 小川新矢，三池秀敏(山口大)
- (2) 解の滑らかさの変動に適應する正則化-正則化パラメータによる3D形状の知識表現- 宮島耕治，武川直樹(NTTデータ)
- (3) Facial Expression Recognition Using Thermal Image Processing 吉富康成(宮崎大)，木村修一，平 栄蔵(宮崎県工業試験場)，富田重幸(宮崎大)

[13:15～18:00]

- (4) 分散協調視覚プロジェクト 松山隆司(京大)，浅田 稔(阪大)，美濃導彦(京大)，和田俊和(岡山大)
- (5) 多重フォーカス画像を用いた実時間3次元距離計測-分散協調視覚システムのための多機能高精度センサの開発- 竹村 岳，松山隆司(京大)
- (6) 選択的注視に基づく動作識別-分散協調視覚システムにおける対象の動作認識法- 和田俊和，加藤丈和(岡山大)
- (7) マルチエージェント環境における部分空間同定法を用いたエージェントの判別と行動理解

- 一分散協調視覚システムにおける対象の行動理解法— 内部英治, 浅田 稔, 細田 耕 (阪大)
- (8) CVCV-WG 特別報告: コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望 (XII)  
— reconstructionism の立場から: エビポーラ幾何の復元による両眼視, 運動視と物体認識の諸問題の統一—  
徐 剛 (立命館大)
- (9) 見学 (17:00 ~ 18:00): 京都大学
- 1月24日 (金)
- [9:20 ~ 11:40]
- (10) 色距離法によるカラーマーキングを施した移動対象像のリアルタイム骨格運動表示 井上 篤, 野田健一 (拓殖大)
- (11) 時空間画像中の運動軌跡の統合に基づくオプティカルフロー推定法 大塚和弘, 堀越 力, 鈴木 智 (NTT)
- (12) コニック対応に基づく平面物体の画像変換—冗長性を利用した線形アルゴリズム— 杉本晃宏 (日立)
- (13) 非線型フィルタバンクによるテクスチャ画像のクラスタリング 田村 仁 (東理大), 阿刀田央一 (農工大)
- [12:50 ~ 17:00]
- (14) 表情の識別とその程度の推定 木村 聡 (LIST), 谷内田正彦 (阪大)
- (15) インタラクティブシステム構築のための実時間ジェスチャ認識の一手法  
渡辺孝弘 (LIST), 李 七雨 (全南大), 谷内田正彦 (阪大)
- (16) KL 展開と HMM によるジェスチャ認識 畠 直志, 岩井儀雄, 谷内田正彦 (阪大)
- (17) Active monitoring system for human surveillance  
Gregory P.House, Shizuo Sakamoto, Nobuaki Takanashi, Johji Tajima (NEC)
- (18) 中心窩両眼能動ビジョンシステムにおける注視制御についての考察 喜多伸之 (電総研)
- (19) CVCV-WG 特別報告: コンピュータビジョンにおける技術評論と将来展望 (XIII)  
— コンピュータビジョン技術の動画像符号化への応用— 柴藤 稔 (松下電器産業)

### ◆第 11 回 数理モデル化と問題解決研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 中森真理雄, 幹事: 白石洋一, 伊達 博)

日 時 平成 9 年 1 月 24 日 (金) 9:15 ~ 14:30  
会 場 広島大学 大学会館 大集会室 (所在地は前記参照)  
議 題

[9:15 ~ 11:45]

- 招待講演: 温度並列シミュレーテッド・アニーリングとその応用 瀧 和男 (神戸大)
- 並列化支援視覚化システム NaraView におけるビュー間の連携方法について  
笹倉万里子 (岡山大), 木和田智子, 城 和貴 (奈良先端大), 荒木啓二郎 (九大)
- 遺伝的アルゴリズムに対するメタヒューリスティクスに基づくパラメータ値設定手法  
松田憲治, 八田浩一, 若林真一, 小出哲士 (広島大)
- Communication-Parallelism Graph (CPG) によるデータ自動分割手法  
齊藤哲哉, 城 和貴, 福田 晃 (奈良先端大)

[13:00 ~ 14:30]

- 人体を含む複雑系の数理モデル化と問題解決 (道路橋に関連した場合) 西山修二 (広島市工業技術センター)
  - 有限視野を持つ群ロボットのための一点収束アルゴリズムとその誤差に対する強度の評価  
大麻宣伸 (広島大), 鈴木一郎 (ウイスコンシン大), 山下雅史 (広島大)
  - コンピュータシステムの自動スリープ機能における省電力効果 岡村寛之, 土肥 正, 尾崎俊治 (広島大)
- \* 23 日 (木) に同会場にてアルゴリズム研究会が開催されます。(前記参照)

### ◆第 33 回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 八村広三郎, 幹事: 斎藤 雅, 高橋晴子, 山田奨治)

日 時 平成 9 年 1 月 24 日 (金) 10:00 ~ 15:50  
会 場 九州工業大学 情報工学部 AV 講演室

[飯塚市川津 680-4. JR (筑豊線, 篠栗線) 新飯塚駅から西鉄バス: 二瀬支所下車, 徒歩 5 分. Tel.(0948)29-7725]

議 題

[10:00 ~ 12:00]

- 英語の特殊コーパス構築とその利用法: 自然科学分野の英語論文と口頭発表のペアコーパスを例に  
梅咲敦子 (帝塚山短大)

(2) 英文読解支援システムと速読支援機能の教育的効果

國近秀信, 長松利加, Judith A.Johnson, 竹内 章 (九工大), 大槻説乎 (広島市大)

(3) 日本語教育用辞書の用例の分析

坂谷内勝 (国立教育研)

(4) 教材用イラストの分析

小松幸廣 (国立教育研)

[13 : 00 ~ 15 : 50]

(5) 推理小説理解への感情シミュレーション手法の利用

三好 聡, 神山文子, 西島恵介, 藤田米春 (大分大)

(6) 自然言語処理と音楽情報処理の融合に向けて

中村順一 (九工大)

(7) WWW による考古学データベースの発信

小林 努, 加藤常員, 小澤一雅 (大阪電通大)

(8) 図形の対称性解析とその応用

福島重廣 (九工大)

(9) 画像からの感性要因抽出法

田中昭二, 石若通利, 井上正之, 井上誠喜 (ATR)

◆第 80 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

◆第 21 回 グループウェア研究会

合同研究会

(発表件数 : 42 件)

DPS (主査 : 白鳥則郎, 幹事 : 小花貞夫, 柴田義孝, 菅野政孝)

GW (主査 : 松下 温, 幹事 : 星 徹, 宗森 純, 山上俊彦)

日 時 平成 9 年 1 月 30 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 30

31 日 (金) 9 : 30 ~ 18 : 00

会 場 愛媛大学 城北キャンパス 大学会館 3F (A 会場, B 会場によるパラレルセッション)

[松山市文京町 3. 松山空港よりバス : JR 松山駅下車, あるいは松山観光港より伊予鉄 (高浜線) : 松山市下車, 市電 (環状線) : 日赤前下車, 徒歩 5 分. または, 空港からタクシーにて約 30 分. Tel.(089)927-9791 (石丸), 9788 (山本)]

議 題

1 月 30 日 (木)

[10 : 00 ~ 11 : 45] (A 会場)

(1) 移動体環境のためのハイブリッドチェックポイント

吉田文成, 桧垣博章, 滝沢 誠 (電機大)

(2) マルチメディアアプリケーションのためのメディア伝送プラットフォームの構築

齋藤武夫 (東北大)

(3) 分散環境におけるメディア合成記述に関する研究

菊池一彦 (東北大)

[10 : 00 ~ 11 : 45] (B 会場)

(4) 映像散策のためのビデオハイパーメディアークライアントサーバ型 VHM のアーキテクチャ

坂田哲夫, 佐藤哲司, 柴垣 斉 (NTT)

(5) 映像散策のためのビデオハイパーメディアークライアントサーバ型 VHM 統合開発環境の全体構想

平野泰宏, 坂田哲夫, 星 隆司, 柴垣 斉 (NTT)

(6) ビデオハイパーメディアークライアントサーバ型 VHM を適用した駅向けマルチメディア情報案内システム

中村仁之輔, 宮本昌征, 千原 誠, 岩渕 明, 平野泰宏 (NTT)

[13 : 00 ~ 13 : 40]

(7) 招待講演 : 21 世紀に向けたストレージシステムのための符号と信号処理技術の展望

田崎三郎 (愛媛大)

[13 : 40 ~ 14 : 50] (A 会場)

(8) 個別情報埋め込みによる画像データの保護方式

阿部剛仁, 藤井 寛, 串間和彦 (NTT)

(9) デジタル画像情報保護のためのスクランブル方式

藤井 寛, 串間和彦 (NTT)

[13 : 40 ~ 14 : 50] (B 会場)

(10) 動画のインタラクティブな分岐方法の提案とその適用

林田 晋, 宗森 純, 首藤 勝 (阪大)

(11) スライディングウィンドウ制御の拡張による TCP の改善

村山公保, 山口 英 (奈良先端大)

[15 : 10 ~ 17 : 30] (A 会場)

(12) デスクトップ会議における TCP/IP プロトコル品質の分析結果

岡田康義, 佐久間博, 山本 豊 (NTT)

(13) ATM ネットワークに適したストリーム転送プロトコル

綾田和晶, 西村浩二, 相原玲二 (広島大)

(14) 優先順位を考慮した輻輳制御に関する考察

趙 晩熙, 海老原義彦 (筑波大)

(15) 通信プロトコルの LOTOS 仕様から並行 EFSM 群への変換の一手法

水野健太郎 (阪大), 安本慶一 (滋賀大), 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

[15 : 10 ~ 17 : 30] (B 会場)

(16) 役割指向型組織モデルのエージェントシステムによる実現

榎木 浩, 神田恭典, 中村公治, 下地 寛, 喜多村彰三 (富士通関西通信システム)

- (17) エージェント間交渉によるスケジュールの調整方式 喜田弘司, 吉府研治, 垂水浩幸 (NEC)  
 (18) ワークウェブシステム: ワークフロー動的再計画の方式 垂水浩幸, 吉府研治, 喜田弘司 (NEC)  
 (19) 協調学習ナビゲーション手法の提案 堀川桂太郎 (NTT)

1月31日(金)

## [9:30~11:50] (A会場)

- (20) 分散情報探索のための情報管理エージェント 阿部康一, 武田利浩, 丹野州宣 (山形大)  
 (21) 情報共有のための自律的なメディアの提案 武田利浩 (山形大)  
 (22) 分散型電子メールアドレス検索システム 岸 健一, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)  
 (23) 分散協調型強化学習によるリフレクティブエージェントの性能評価 阿部倫之, 中沢 実, 服部進実 (金沢工大)

## [9:30~11:50] (B会場)

- (24) インターネットを活用したソフトウェア開発支援方法 藤井 諭 (松江高専)  
 (25) 遠隔授業支援システムの開発 井上 穰, 由井蘭隆也 (鹿児島大), 宗森 純 (阪大), 長澤庸二 (鹿児島大)  
 (26) サイバースペース環境を用いた仮想オフィスの提案 湯田佳文 (NTT)  
 (27) アウェアネススペースと気配を考慮した大部屋仮想オフィス 富岡展也, 本田新九郎, 木村尚亮, 大沢隆治, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

## [13:00~15:20] (A会場)

- (28) 医療画像を用いた遠隔自動病名判断の研究 鳥居大哉, 柴田義孝 (東洋大)  
 (29) ビデオウォークスルーとバーチャルリアリティを融合させたマルチメディア・プレゼンテーションシステム 木原民雄, 岸田義勝, 柴垣 齊, 寺中勝美 (NTT)  
 (30) 衛星利用データ配信システム SDDS の評価 秋山康智, 田中功一 (三菱電機)  
 (31) 利用者行動モデルを用いたマルチメディアシステムの分析 中畝 弘, 篠田 晃 (NTT)

## [13:00~15:20] (B会場)

- (32) 遠隔情報共有プラットフォーム構成技術: JavaVitaminKit 山上俊彦 (NTT)  
 (33) 異種集団をまたがる協調作業支援に関する研究 坂本 啓, 新井克也, 西田晴彦 (NTT)  
 (34) “ディスコミュニケーション”分析による協調支援の課題抽出—協調支援の課題に関する考察— 福留恵子 (NTT データ)  
 (35) 分散環境における人間の忙しさと呼びかけに関する研究 小島祐治, 前田泰宏, 平松恵子, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

## [15:40~18:00] (A会場)

- (36) 負荷分散機構を有する適応型ルーティングの一手法 棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)  
 (37) ネットワークスケラブルな分散オブジェクト空間管理方式 小早川雄一, 斉藤隆之, 前川博俊 (デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)  
 (38) 分散オブジェクト指向ネットワークアーキテクチャにおける呼処理の実現方法 中村元紀 (NTT)  
 (39) 分散オブジェクト指向ネットワークアーキテクチャにおけるオブジェクトの管理方法 武本充治 (NTT)

## [15:40~18:00] (B会場)

- (40) 他人の評価・操作の履歴を利用した NetNews の記事の選択支援 青柳憲昌, 北 英彦, 林 照峯 (三重大)  
 (41) アクセス回数を利用したWWWの人気ホームページ道案内システム 杉井俊彦, 北 英彦, 林 照峯 (三重大)  
 (42) 理解しやすいハイパーメディア情報に関する考察 山本恭裕, 高田真吾, 中小路久美代 (奈良先端大)

## ▶第5回 デジタル・ドキュメント研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高)

時 平成9年1月31日(金) 13:30~17:00

場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

## 題

- 1) 字面解析を応用した日本語文章推敲支援ツールの開発 菅沼 明, 牛島和夫 (九大)  
 2) 日本語文書校正支援ツール HPS の開発 納富一宏 (神奈川工科大)  
 3) 困ったときに役立つ電子化マニュアルをめざして 中川裕志, 森 辰則, 松尾 衛 (横浜国大)  
 4) 製品情報広域検索システムにおける検索方式 森口 修, 今村 誠, 鈴木克志 (三菱電機)

: 日本工業技術振興協会(ユーザドキュメント研究部会)と共催。

~~~~~

**\*\*\*研究会 論文募集\*\*\***

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel., Fax., e-mail）を明記の上、各研究会照会先までe-mailまたはFax.で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax.(03)5484-3534）に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆**計算機アーキテクチャ研究会**

◆**ハイパフォーマンスコンピューティング研究会**

上記2研究会の連続研究会をHOKKE-97と題して下記のとおり開催いたします。本連続研究会のテーマである「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する発表をお願いいたします。会場と時間の制約から、このテーマから大きくかけ離れる発表内容については次回以降の研究会にお願いする場合がありますので、ご承知おきください。多数の発表申込をお待ちしております。

日 程 平成9年3月6日（木）・7日（金）

会 場 札幌ソフトウェア専門学校

議 題 第4回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する北海道ワークショップ（HOKKE-97）

発表申込締切 平成8年12月25日（水）

照 会 先 e-mail:Hokke-Apply@etl.go.jp

\*特別な航空券の手配等はありません。旅行代理店等へお問い合わせください。

◆**グループウェア研究会**

日 程 平成9年3月6日（木）

会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）

発表申込締切 平成8年12月25日（水）\*できるだけe-mailでお願いします。

照 会 先 上野元治（東芝） e-mail:ueno@csl.rdc.toshiba.co.jp Tel.(044)549-2020 Fax.(044)549-2224

◆**ヒューマンインタフェース研究会**

日 程 平成9年3月6日（木）・7日（金）

会 場 東北大学 片平キャンパス

議 題 小特集：インタフェースデバイス

発表申込締切 平成8年12月25日（水）

照 会 先 布川博士（宮城教育大） e-mail:nunokawa@ipc.miyakyo-u.ac.jp Tel.(022)214-3536 Fax.(022)214-3536

◆**ソフトウェア工学研究会**

日 程 平成9年3月7日（金）

会 場 富士通幕張ラボラトリ 会議室（幕張）

発表申込締切 平成8年12月21日（土）

照 会 先 深澤良彰（早大） e-mail:fukazawa@fuka.info.waseda.ac.jp Tel.(03)5286-3345 Fax.(03)5286-3345

◆**アルゴリズム研究会**

日 程 平成9年3月14日（金）

会 場 NTT基礎研究所（厚木市）

発表申込締切 平成8年12月18日（水）

照 会 先 阿久津達也（東大） e-mail:takutsu@ims.u-tokyo.ac.jp Tel.(03)5449-5617 Fax.(03)5449-5434



◆自然言語処理研究会

日 程 平成9年3月21日(金)・22日(土)

会 場 長崎大学 工学部

発表申込締切 平成9年1月7日(火) \*できるだけe-mailをお願いします。

照会先 久光 徹(日立) Tel.(0492)96-6111(ext.242) Fax.(0492)96-6006 e-mail:hisamitu@harl.hitachi.co.jp

\*申込みには返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

◆数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成9年3月24日(月)

会 場 川崎製鉄(千葉)

議 題 特集:数理モデル化(地震, 気象, 心理, 医療, 等) および一般

発表申込締切 平成8年12月25日(水)

照会先 白石洋一(群馬大) Tel.(0277)30-1854 Fax.(0277)30-1801 e-mail:siraisi@cs.gunma-u.ac.jp

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

日 程 平成9年3月27日(木)

会 場 東京大学 生産技術研究所

発表申込締切 平成8年12月25日(水)

照会先 喜多伸之(電総研) Tel.(0298)58-5986 Fax.(0298)58-5971 e-mail:nkita@etl.go.jp

\*申込みには返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

◆デジタル・ドキュメント研究会

日 程 平成9年3月28日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込締切 平成8年12月27日(金)

照会先 荒井真人(日立) e-mail:arai\_m@soft.hitachi.co.jp Tel.(045)826-8312 Fax.(045)826-7814

~~~~~

## 平成9年度の研究会について

平成9年度の研究会は下記の27研究会（新設1）で活動いたします。研究分野、開催日程等の活動詳細、新規登録申込につきましては、2月号本欄をご覧ください。

平成8年度に研究会登録をされている方の登録手続きは自動継続制度です。詳細につきましては別途発送（1月上旬予定）する案内をご覧ください。

## 記

## &lt;コンピュータサイエンス領域&gt;

(円)

英略称	研究会名	登録費 (税込み)	英略称	研究会名	登録費 (税込み)
DBS	データベースシステム	4,830	HPC	ハイパフォーマンスコンピューティング	5,145
SE	ソフトウェア工学	4,935	PRO	プログラミング	5,145
ARC	計算機アーキテクチャ	5,565	AL	アルゴリズム	5,460
OS	システムソフトウェアとオペレーティング・システム	5,250	MPS	数理モデル化と問題解決	4,410
DA	設計自動化	5,040			

## &lt;情報環境領域&gt;

DPS	マルチメディア通信と分散処理	5,565	AVM	オーディオ・ビジュアル複合情報処理	4,515
HI	ヒューマンインタフェース	5,355	GW	グループウェア	4,725
CG	グラフィクスとCAD	4,725	DSM	分散システム運用技術	4,620
IS	情報システム	4,515	DD	デジタル・ドキュメント	4,935
FI	情報学基礎	4,725	MBL	* モバイル・コンピューティング	4,725
IM	情報メディア	4,935			

## &lt;フロンティア領域&gt;

NL	自然言語処理	5,880	CH	人文科学とコンピュータ	4,410
AI	人工知能	4,095	MUS	音楽情報科学	3,885
CVIM	コンピュータビジョンとイメージメディア	5,460	SLP	音声言語情報処理	5,355
CE	コンピュータと教育	4,410			

\*：新設  
各研究会登録費には消費税が含まれています。

## 「モバイルコンピューティング研究会」発足のお知らせ

### 目 的

ARPA ネットに始まる計算機ネットワークは情報処理技術と通信技術の劇的な発展により、身近なものになってきています。従来、計算機ネットワークというのは、どちらかという和有線でつながれたものが基本であり、また無線であっても無線 LAN のように静的なものが多かったのが事実です。しかしながら、客先へ出向いて注文をとりつける外回りの営業マンや、客先を回って製品の具合を確かめるサービスマンのように、実際にはデータや情報の発生現場は移動しています。

モバイルコンピューティングは、移動する情報発生現場での情報を迅速に、正確に、計算機へ取り込み、また、移動する現場に、オフィスと同じ計算機環境を持ち込み、情報発生その場での情報処理を可能にするものです。このようなモバイルコンピューティングは、携帯電話、自動車電話、インターネットなどの通信網技術とともに、各種の携帯端末を持ち、「いつでも、どこでも、だれとでも」が可能となるコンピュータ処理環境です。

一方、モバイルコンピューティングは、広域のみならず、工場自動化システムのように限定された領域においても有効です。すなわち、工作機械などは、通常固定した場所に置かれていますが、搬送車、ロボットなどのように、移動しながら動作させた方が、工場における生産の柔軟性を高めることができます。すなわち、ハイテク化された工作機械が相互に通信しながら、赤外線、無線などを利用してお互いに連携協調しあうことによって、より効率良く生産すること可能になることが期待されています。

モバイルコンピューティングの主体は、オフィスから出て外に持ち歩く、あるいは、移動体に付随する情報処理機器であり、パソコンを小型化して、サブノート化、パームトップ化することによる携帯性、簡便性、活動性、機動性、即時性を追求することのほかに、ホスト計算機や各種サーバと接続する上で、相互通信性や同期性、即時性の追求の研究も必要になってきます。また、音声との共用利用の観点から、CDPD (Cellular Digital Packet Data)、PHS (Personal Handy Phone System)、デジタル MCA、GPS などを利用した通信機能を利用した新しい情報処理に関する研究も必要になってきます。

一方、ソフトウェアの面から眺めますと、モバイルコンピューティング機器のオペレーティングシステムも、それに適したものが必要になります。応用システム開発用の各種支援言語も必要になってきます。モバイルコンピューティングが主として目的とするの携帯性、簡便性、機動性ということの裏を返しますと、紛失、盗難、盗聴／漏えい、不正使用など、安全性への配慮も必須となります。

以上のような背景のもとに、携帯情報機器の登場、計算機ネットワークの普及により、いつでもどこでもネットワークを利用しながら自分の計算機で作業を行いたいというモバイルコンピューティングの利用形態がひろまっています。

本研究会はこのような新しい情報環境の利用形態に関して、基礎となる理論・技術、通信プロトコル、コンピュータアーキテクチャ、オペレーティングシステム、アプリケーション、応用事例、管理運用、さらに社会科学的考察まで、研究していくことを目指しています。

### 主な研究分野

- (1) 移動体通信計算機環境 (言語, OS, インタフェース等)
- (2) 携帯端末 (アーキテクチャ等)
- (3) セキュリティ
- (4) 移動体ネットワーク (アーキテクチャ, プロトコル, 管理運用等)
- (5) 無線ネットワーク (衛星通信, 無線 LAN 等)
- (6) 分散協調プロトコル
- (7) ユービキタスコンピューティング
- (8) モバイルアプリケーション
- (9) モバイル社会システム

### 発案者 (五十音順)

阿部圭一 (静岡大)	荒川弘熙 (NTT データ)	荒木啓二郎 (九大)	石田晴久 (東大)
牛島和夫 (九大)	浦野義頼 (早大)	加藤隆章 (デンソー)	河野隆一 (インテック)
小林弘幸 (MMC コンピュータリサーチ)	坂村 健 (東大)	阪田史郎 (NEC)	塩見 正 (通信総研)
白鳥則郎 (東北大)	菅原光宏 (NTT ドコモ)	砂原秀樹 (奈良先端大)	滝沢 誠 (電機大)
竹内彰一 (ソニー)	田坂修二 (名工大)	田中 譲 (北大)	千葉 徹 (シャープ)
塚本享治 (電総研)	津村和政 (沖電気)	所真理雄 (慶大)	戸田 巖 (富士通)
中島辰夫 (北陸先端大)	中津良平 (ATR)	西尾章治郎 (阪大)	野口正一 (日大)
野間口有 (三菱電機)	坂東忠秋 (日立)	福田 晃 (奈良先端大)	松下 温 (慶大)
水野忠則 (静岡大)	南 正名 (東芝)	村井 純 (慶大)	村上仁己 (KDD)
安田 浩 (NTT)	和田英一 (富士通)		

## 情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・欠席の場合も参加費は返金いたしません。
- ・会員の方は必ず会員 No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (A は該当番号に○)				
A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : 郵便番号	G : ご住所			
H : Tel.			I : Fax.	
J : e-mail				

送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入

K :

申行事		アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
L : 行事 No.		P : 性別	(1) 女性 (2) 男性
M : 参加費	円	Q : たばこ	(1) すう (2) すわない
N : 懇親会費	円	R : 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
O-1 : 論文集のみ	円	S : 通信欄	
O-2 : 論文集のみ	冊		

T : 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 ( 月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 ( 月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) ( 月 日に送金予定) *	
	(4) 当日持参	
	(5) 現金書留	
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入		
U : 送金名義人		
V-1 : 請求書 通	V-2 : 見積書 通	V-3 : 納品書 通
W : 請求書記載名義		
X : 送金に関する問合せ先		

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)

e-mail:jigyoe@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)

\* e-mailでの申込み:各項目はカンマ(,)で区切り,(1) ... (5)は選択,その他は文字を記入のこと。

[例] A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎, ... T : (1) (1月30日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) × × 電気, ...

行事 No. S-FI97

## 「1997年情報学シンポジウム」参加者募集

—人と情報学の調和をめざして—

日時 平成9年1月16日(木)9:30~16:50 17日(金)9:30~17:00  
 会場 日本学術会議講堂(東京都港区) \*参加申込の方には詳細を後日送付。  
 共同主催 日本学術会議(情報学研究連絡委員会, 情報工学研究連絡委員会), 情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会  
 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会  
 後援 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会  
 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 科学技術振興事業団, 日本機械学会, 日本金属学会  
 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会  
 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会

参加費(論文集代として) 共催学協会会員: 8,000円 学生: 3,000円 非会員: 12,000円  
 \*当日出席できない方のために論文集(郵送)の申込も受け付けております。

申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax, または e-mail で送付のこと。

申込締切 平成8年12月20日(金) \*当日受付も歓迎しますが, 資料不足の際は事前登録者を優先します。

\*申込先は行事申込書(会告欄20p)をご覧ください。

## プログラム

1月16日(木)

○ [9:30~9:40] 挨拶 組織委員長: 土居範久(日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

● [9:40~11:00] セッション1: 生命体と情報処理 I 座長: 中川 優(近畿大)

(1) 招待講演: 発語機能および四肢運動機能喪失患者のための会話システム—視覚誘発脳波を利用した装置を用いて—  
 中井國雄, Erich E.Sutter(和歌山医大)

(2) 招待講演: 報酬の予測に基づくロボットの学習と脳のモデル 銅谷賢治(ATR)

● [11:00~12:00] 座長: 藤原 譲(筑波大)

(3) 基調講演: 脳科学の現状と展望 外山敬介(京都府立医大)

● [13:00~14:10] セッション2: 生命体と情報処理 II 座長: 安永卓生(東大)

(4) なめくじの学習機構 関口達彦(三洋電機)

(5) 招待講演: 真珠の分子生物学的研究 松代愛三(近畿大)

● [14:30~15:40] セッション3: データモデル 座長: 中谷多哉子(東大)

(6) 特別講演: 意味関係解析に基づく概念記憶構造 藤原 譲(筑波大)

(7) データの整理・分類支援のためのデータモデル 宝珍輝尚, 中田 充, 都司達夫(福井大)

● [15:40~16:50] セッション4: NW利用技術とプライバシー保護 座長: 太田敏澄(電通大)

(8) 招待講演: 情報公開とプライバシー保護 廣松 毅(東大)

(9) 大規模サイトの運営とインターネット技術 安東孝二(東大)

1月17日(金)

● [9:30~11:00] セッション5: 自然言語と知識処理 座長: 石塚英弘(情報大)

(10) 人間生活活動を表現する物語型業務支援システムの構想 小方 孝, 川村洋次(東大)

(11) 基調講演: 自然言語処理技術と情報検索 田中穂積(東工大)

● [11:00~12:10] セッション6: 電子図書館・電子博物館 座長: 大山敬三(学情センター)

(12) 招待講演: 東大デジタルミュージアムの目的と技術 坂村 健(東大)

(13) CG司書によるガイダンス機能を備えた一般利用者向け電子図書館システム

細見 格, 上窪真一, 原 雅樹, 吉坂主句, 神谷俊之, 市山俊治(NEC)

● [13:10~14:30] セッション7: マルチメディア技術 I (情報の可視化) 座長: 木本晴夫(NTT)

(14) 招待講演: マルチメディア技術とサービスの現状と展望 松本慎二(NTT)

(15) 招待講演: VRMLによる情報の可視化: 電子博物館, 仮想都市の実現 安藤幸央(エヌ・ケー・エクス)

(16) 招待講演: 三つのCとコンピューター Culture, Communication & Creativity への計算機支援の可能性を探る—

中小路久美代(奈良先端大)

● [15:30~16:40] セッション8: マルチメディア技術 II (情報の高度利用に向けて) 座長: 細野公男(慶大)

(17) 招待講演: Interactive Actor for Future Movies 土佐尚子(ATR)

(18) 情報獲得のパラダイムとしての Information Outlining 野美山浩, 武田浩一(日本IBM)

○ [16:40~17:00] 総括 実行委員長: 岡野弘行(JST)

行事 No. RS-96

情報処理学会 連続セミナー 96  
“ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術”  
参加者募集

現在、標記セミナーの参加者を下記のとおり募集しております。奮ってご応募願います。

記

会場 工学院大学 3F 312 教室 (東京都新宿区西新宿)  
締切 定員 (250 名, 学生は 20 名) になり次第締め切ります。  
資料 当日配布  
参加費 1 開催分: 正・賛助会員 18,000 円 非会員 25,000 円 学生 2,500 円  
2 開催分: 正・賛助会員 36,000 円 非会員 50,000 円 学生 5,000 円  
申込方法 「行事申込書」を使い、郵便, Fax., e-mail でお申し込みください。

第 5 回 平成 9 年 1 月 24 日 (金) 「パーソナルコンピューティングの技術と利用者」  
セッション 1 10 : 00 ~ 11 : 00 近未来のユーザインタフェース: 実世界と融合するコンピュータ  
暦本純一 (ソニー CSL)  
セッション 2 11 : 00 ~ 12 : 00 身障者が働くためのコンピューティング  
竹中ナミ (プロップステーション)  
セッション 3 13 : 20 ~ 14 : 20 似て非なるもの - PC とテレビのためのコンピュータ  
森 徹也 (シリコングラフィックス)  
セッション 4 14 : 20 ~ 15 : 20 高齢者のコミュニケーションツールとしてのコンピュータ  
吉田敦也 (京都工繊大)  
パネルディスカッション 15 : 30 ~ 17 : 30 「真のパーソナルコンピューティングを求めて」  
司会: 平松庚三 (IDG)  
パネリスト: 暦本純一, 竹中ナミ, 森 徹也, 吉田敦也

第 6 回 平成 9 年 3 月 28 日 (金) 「電子取引の現状と将来」  
コーディネータ: 細谷僚一 (NTT)

- ・内容および日程, 日時が多少変更される場合がございます。ご了承願います。
- ・過去 6 年分の資料はすべて在庫がございます。(1 部 5,000 円送料・税込)

## 「インタラクシオン '97」参加者募集

コンピュータとネットワーク技術の進歩は、情報環境の高度化にとどまらず、新しい情報サービス産業やフラットな組織を生み出すなど、人間および社会に大きな影響を与えています。人間社会にとって望ましいメディアや情報環境を実現するためのキーワードとなるのが「インタラクシオン」であり、ヒューマンインタフェース研究会では、人間重視という共通基盤の上で、人とコンピュータとの対話、人と人のコンピュータを介したコミュニケーションなどを研究対象として活動してきました。今回の「インタラクシオン '97」は、音声、画像、自然言語などのメディア情報処理、情報メディアと情報環境、システムとソフトウェア、さらには、社会科学、認知科学などの研究者が包括的に集える Cross Cultural な「インタラクシオンの場」です。従来の研究会の枠組を越えて、査読によって厳選された講演とインタラクティブ発表やパネルを通じて、質の高い議論が多方面から展開され、シナジー効果により新たなインタラクシオン研究の方向性が示唆されることをねらって開催いたします。プログラム等の詳細は次号（1月号）本欄および <http://www.brl.ntt.jp/interaction97/> をご参照ください。

- 日 程 平成9年2月4日（火）・5日（水）
- 会 場 東京大学 山上会館 \*参加申込の方には詳細を後日送付。
- 主 催 情報処理学会 ヒューマンインタフェース研究会
- 協 賛 情報処理学会 情報メディア研究会、コンピュータビジョンとイメージメディア研究会、  
音楽情報科学研究会、音声言語情報処理研究会  
日本ソフトウェア科学会 インタラクティブシステムとソフトウェア研究会  
電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ
- 予定セッション ●一般講演 ●インタラクティブ発表
- 参加費 会員：18,000円、非会員：22,000円（論文集、ビデオ、懇親会費込）、学生：8,000円（論文集代込）
- 論文集のみ 5,000円（予価、送料・消費税込）
- デモ 発表内容に関するデモを集めたテープ配布予定。（予価3,000円、詳細は [siito@trl.ibm.co.jp](mailto:siito@trl.ibm.co.jp) まで）
- 申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送、Fax.またはe-mailで送付のこと。
- 申込締切 平成9年1月21日（火）
- 申込先 （社）情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail: [sig@ipsj.or.jp](mailto:sig@ipsj.or.jp)
- 問合せ先 山本吉伸（電総研）Tel.(0298)58-5920 Fax.(0298)52-0865 e-mail: [yoshinov@etl.go.jp](mailto:yoshinov@etl.go.jp)  
URL: <http://www.brl.ntt.jp/interaction97/>

## 「分散システム運用技術シンポジウム '97」 参加者募集

## — ATM Network/LAN システムの現状と将来—

最近のインターネットおよび WWW の爆発的な普及により、その高速で柔軟な構成のとれるネットワーク技術が必要となってきました。そのひとつに、ATM 技術があります。平成 6 年度には国立大学を中心として ATM ネットワークが導入されました。

本シンポジウムでは、ATM 技術の最近の動向について概観するとともに ATM 技術を利用した LAN および WAN の構築や運用について報告・討論します。

日 時 平成 9 年 2 月 6 日 (木) 9:50 ~ 17:00 7 日 (金) 10:00 ~ 17:40

会 場 電気通信大学 (東京都調布市) \*参加申込の方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 分散システム運用技術研究会

参加費 (論文集込) 正会員: 15,000 円 研究会登録会員: 12,000 円 学生: 4,000 円 非会員: 20,000 円

論文集のみ 5,000 円 (送料, 消費税込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax. または e-mail で送付のこと。

申込締切 平成 9 年 1 月 20 日 (月) \*申込先は, 行事申込書 (会告欄 20p) をご覧ください。

## プ ロ グ ラ ム

## 2 月 6 日 (木)

- [9:50 ~ 10:00] 開会挨拶 石田晴久 (東大)
- [10:00 ~ 11:00] 基調講演
- (1) 高速ネットワークが拓く教育・研究の新展開 池田克夫 (京大)
- [11:00 ~ 12:30]
- (2) ATM マルチメディアアプリケーションの構成方法と評価 萩原洋一, 佐藤克巳, 長嶺俊二 (農工大)
- (3) ATM ワークステーションクラス用 MPI ライブラリの実装と評価 大井拓哉, 大澤節高, 弓場敏嗣 (電通大)
- (4) ATM ネットワークの予約回線設定方式 若原俊彦, 恒川健司, 由比藤光宏, 水澤純一 (NTT)
- [13:30 ~ 14:30] 招待講演
- (5) マルチメディア実験における ATM 技術~横須賀 VOD トライアルを例として~ 副島昌二 (NTT)
- [15:00 ~ 17:00]
- (6) ノースカロライナ州の ATM ネットワーク 武市博明 (富士通)
- (7) 北米における ATM ネットワークの事例 佐々木潤世 (UB ネットワークス)
- (8) 高帯域 network のもとの Media の統合と分散 丸山不二夫 (稚内北星学園)
- (9) ATM ネットワークの構成と運用の実際 荻田幸雄 (KEK)

## 2 月 7 日 (金)

- [10:00 ~ 11:00] 招待講演
- (10) 学術情報ネットワークにおける ATM の運用について 浅野正一郎 (学情センター)
- [11:00 ~ 12:30]
- (11) 異機種混在 ATM ネットワークにおける論理網構成管理方式 荒木孝広, 花木三良 (NTT)
- (12) Virtual Network on ATM-LAN 管理方式の実現 三宅 滋 (日立)
- (13) PVC On Demand による ATM LAN の運用管理 西村浩二, 相原玲二 (広島大)
- [13:30 ~ 15:00]
- (14) ATM と従来 LAN の冗長混在構成と運用 額田順二 (横浜国大), 他
- (15) 千葉大学における ATM ネットワーク導入事例 戸田洋三 (千葉大)
- (16) 京都大学における ATM ネットワーク KUINS-II/ATM の設計と運用 岡部寿男, 石橋勇人, 金澤正憲 (京大)
- [15:30 ~ 17:30] パネル・ディスカッション
- (17) 動いている? ATM LAN コーディネータ: 一井信吾 (東大)
- パネラ: 下条真司 (阪大), 曾根秀昭 (東北大), 戸田洋三 (千葉大), 井戸直樹 (フォアシステムズジャパン)
- 高田 治 (日立), 鈴木 洋 (NEC)
- 林 英輔 (山梨大)

○ [17:30 ~ 17:40] 閉会挨拶



## 「オブジェクト指向 '97 シンポジウム」論文募集

オブジェクト指向はソフトウェアやソフトウェア開発の広範な領域に影響を及ぼすようになってきましたが、それだけに技術上、適用上の課題も多様化しています。またコンポーネントウェアに基づいた新しいソフトウェア開発や、ネットワークの普及を背景とした分散コンピューティングの世界も急速に拡大しています。ソフトウェア工学研究会では '95、'96 年とオブジェクト指向シンポジウムを開催し、オブジェクト指向でのソフトウェア、およびソフトウェア開発に関して実践面から技術の最先端までの幅広いテーマを多面的に取り上げ、多くの方の参加をいただきました。'97 年にも、上記のような技術の広がりを踏まえて、以下の要領でオブジェクト指向 '97 シンポジウムを開催します。多数の論文のご投稿をお待ちしております。

日 時 平成 9 年 7 月 2 日 (水) ~ 4 日 (金)  
 会 場 タイム 24 ビル セミナールーム (臨海副都心)  
 主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

### 論文応募要領

テ ー マ 下記を中心とした広くオブジェクト指向に関連するテーマ

- ・ソフトウェアの開発と管理  
 分析, 設計, コンポーネントウェアでの開発, プログラミング, テスト, メトリクス,  
 プロジェクト管理, 教育
- ・再利用  
 パターン, フレームワーク, コンポーネントウェア, ソフトウェアアーキテクチャ
- ・実践と経験  
 オブジェクト指向での開発事例, 評価, 既存システムからの移行, 各種ドメインへの適用
- ・基盤技術, 支援環境  
 言語, GUI, オブジェクト管理, リポジトリ, オブジェクト指向データベース, CASE,  
 Java, CORBA
- ・分散, 並行オブジェクト指向システム  
 ネットワークアプリケーション, 分散処理システム, 並行処理システム, エージェント

応募方法 (1) 投稿論文は、フルペーパー、またはショートペーパーの 2 種類を募集します。フルペーパーは通常の研究会の報告の様式で 8 ページ以内、ショートペーパーは同じく 4 ページ以内とします。各論文の先頭に、フルペーパーまたはショートペーパーの別を明記してください。

(2) 発表ご希望の方は、上記に通常の研究会発表申込書を添えて下記の送付先へ提出ください。e-mail (プレインテキストまたは PS ファイル) での応募を歓迎します。

(3) 原稿送付先 〒214-71 川崎市多摩区東三田 1-1-1  
 明治大学 理工学部 情報科学科 中所武司  
 e-mail:oo97@se.cs.meiji.ac.jp Tel.(044)934-7449 (直通) Fax.(044)934-7912

スケジュール (1) 論文応募締切 : 平成 9 年 2 月 14 日 (金)  
 (2) 採否通知 : 平成 9 年 4 月 10 日 (木)  
 (3) カメラレディ原稿提出: 平成 9 年 5 月 6 日 (火)

会 先 岸 知二 (NEC) e-mail:kishi@ccs.mt.nec.co.jp Tel.(03)5476-1089 (直通) Fax.(03)5476-1113

### プログラム・実行委員 (予定)

青山幹雄 (新潟工科大), 飯島 正 (慶大), 石川 裕 (RWCP), 井上 健 (横河電機), 上原三八 (富士通),  
 大西 淳 (立命館大), 岸 知二 (NEC), 杉山安洋 (日大), 中所武司 (明大), 中谷多哉子 (東大),  
 野呂昌満 (南山大), 羽生田栄一 (オーガス総研), 広本 治 (CAC), 深澤良彰 (早大), 古川善吾 (九大),  
 本位田真一 (東芝), 松岡 聡 (東大), 三ッ井欽一 (日本 IBM)



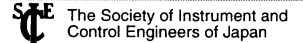
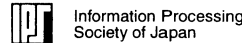
**The Third International Symposium on Autonomous Decentralized Systems**

**April 9 - 11, 1997  
Berlin, Germany**

**ISADS 97**

**ADVANCE PROGRAM**

Sponsored by



In Cooperation with



<b>Wednesday, April 9</b>	<b>Keynote Address:</b> Network Evolution - Convergence of Decentralized Information Technology and Telecommunications, <i>H. Hultsch</i> , Board of Directors, Deutsche Telekom AG		
	<b>Session 1A: Multi Agent Systems I</b>	<b>Session 1B: Telecommunication Services</b>	<b>Session 1C: Distributed Algorithms</b>
	The Supervision of Dynamic Systems by a Society of Agents, <i>M.-K. Allouche et al.</i> A Construction Scheme for Autonomous Distributed Control Systems with Multi-Agent Society, <i>S. Huang et al.</i> A Hybrid Agent Model: A Reactive and Cognitive Behavior, <i>Z. Guessoum</i>	Co-Existence of TMN and CORBA for Service Management, <i>A. Dittrich et al.</i> TANGRAM: Development of Object-Oriented Frameworks for TINA-C Based Multimedia Telecommunication Applications, <i>K.-P. Eckert et al.</i> A Data-Driven Implementation of Telecommunication Network Systems, <i>H. Ishii et al.</i>	Heuristic Token Selection for Total Order Reliable Multicast Communication, <i>W. Jia</i> An Autonomous Decentralized Scheduling Algorithm for a Job Shop Process with a Multi-Functional Machine in Parallel, <i>N. Sannomiya et al.</i> An Autonomous Decentralized Recognition System Having Disperse Wave Properties, <i>H. Yuasa</i>
	<b>Session 2A: Multi Agent Systems II</b>	<b>Session 2B: Service Development</b>	<b>Session 2C: Distributed System Paradigms</b>
The Immune System as a Prototype of ADS: An Overview, <i>Y. Ishida</i> MAGNA - A DPE-Based Platform for Mobile Agents in Electronic Service Markets, <i>S. Krause</i> A Distributed Programming Platform Using Mobile Agents, <i>D.H. Sadok et al.</i>	A Framework for ADS Application Software Development Based on CORBA, <i>S. Yau et al.</i> An ADS Architecture and Techniques for On-Line Development and Maintenance, <i>S. Sameshima</i> Service Accelerator System for Supporting Demand Oriented Information Service, <i>Y. Honda</i>	Fearful Symmetry in System Structures, <i>R. Tanaka et al.</i> Open Autonomous Decentralized Control System Architecture and its Applications to Manufacturing Systems, <i>H. Wataya et al.</i> Network Computing - Ubiquitous Computing or Dumb Multimedia, <i>R.G. Herrtwich</i>	
<b>Panel Session P1:</b> The Role of ADS in Network Computing, Chair: <i>L. Svobodova</i> , IBM			
<b>Thursday, April 10</b>	<b>Keynote Address:</b> Experiences Teach Us the Future of ADS, <i>H. Kuwahara</i> , Representative Director & Executive Vice-President, Hitachi Ltd.		
	<b>Session 3A: Architecture I</b>	<b>Session 3B: Interoperability and Workflow Management</b>	<b>Session 3C: Applications: Factory Automation</b>
	Support for Distributed Multimedia Services in the TINA Architecture, <i>M. Jorgensen et al.</i> A Configurable Protocol Architecture for CORBA Environments, <i>S. Crane et al.</i> A Mechanism to Provide Interoperability between ORBs with Relocation Transparency, <i>E. Madeira et al.</i>	CodAlf: A Decentralized Workflow Management System on Top of OSF/DCE and DC++, <i>A. Schill et al.</i> A Communication Computation Model for Developing CSCW Systems, <i>M. Hiji et al.</i> An Architecture to Facilitate Trade Interoperability Common in Electronic Commerce, <i>H. Wing et al.</i>	A Robot with a Decentralized Consensus-making Mechanism Based on the Immune System, <i>A. Ishiguro et al.</i> Design of Local Communication for Cooperation in Distributed Mobile Robot Systems, <i>T. Arai et al.</i> The Proposal and Development of an ADS for Newspaper Production, <i>A. Yoshizawa et al.</i>
	<b>Session 4A: Architecture II</b>	<b>Session 4B: WWW Information Management</b>	<b>Session 4C: Applications: Train Control and Management</b>
Composing Distributed Objects in CORBA, <i>J.N. Magee et al.</i> Guidelines for Computational Modelling in CORBA Environments, <i>H. Korte et al.</i> Implementation of Replication Services in an Open Environment Using a Reflective Approach, <i>C. Maziero et al.</i>	Design of a Database and Cache Management Strategy for a Global Information Infrastructure, <i>S. Sato et al.</i> Management of a Secure Web-Based Document Store, <i>M. Gehrke et al.</i> A Client-Oriented Distribution Architecture for Web Search Agents, <i>D. Bae et al.</i>	Distributed Management Technique for Software Maintenance and its Application to a Wide-Area Railway System, <i>Y. Kakumoto et al.</i> The New Trends of Train Control and Management System with Real-Time and Non Real-Time Properties, <i>A. Igarashi et al.</i> Future Framework for Maglev Train Traffic Control System Utilizing Autonomous Decentralized Architecture, <i>T. Kawakami</i>	
<b>Panel Session P2:</b> Standards for ADS, Chair: <i>K. Kawano</i> , Hitachi Ltd.			
<b>Friday, April 11</b>	<b>Session 5A: Multi Agent Systems III</b>	<b>Session 5B: Management and Coordination</b>	<b>Session 5C: Applications: Building Control</b>
	Adaptive Environment Observation for Distributed Agents Moving in a Lattice World, <i>T. Watanabe et al.</i> A Negotiation Agents Model for the Provision of Flexible Telephony Services, <i>M. Rizzo et al.</i> Architectural Considerations about Open Distributed Agent Support Platforms, <i>M. Mendes et al.</i>	An Autonomous Agent-Based Infrastructure for Inter-LAN System Management, <i>S. Kao et al.</i> Redesigning the Web: From Passive Pages to Coordinated Agents in PageSpaces, <i>R. Tolksdorf et al.</i> Incorporating Business Process Management into Network and System Management, <i>L. Lewis et al.</i>	Decentralized Autonomous Object-Oriented EMS/SCADA System, <i>T. Seki et al.</i> An Implementation of a Reactive Distributed Air Conflict Resolution System, <i>J.-F. Bosc et al.</i> An ADS Platform under Multi-Vendor Environments in Building Automation, <i>K. Nozaki</i>
	<b>Panel Session P3:</b> Challenges and Future Trends for ADS, Chair: <i>J. Nehmer</i> , U. Kaiserslautern		

Supported by

Hitachi

DeTeBerkom

NEC

Digital

GMD FOKUS

Hewlett Packard

IBM

## SADS 97 Registration Information - Register Today!

register, please complete this form and send with payment to:

Registration Office ISADS 97: Hapag-Lloyd Reisebüro GmbH, Group Department, Maxstr. 3a, D-13347 Berlin, Germany, Telephone: +49.30.46009 130; Fax: +49.30.46009 110

First Name \_\_\_\_\_ Last Name \_\_\_\_\_ Title \_\_\_\_\_  
 Institution \_\_\_\_\_  
 Mailing Address \_\_\_\_\_  
 City \_\_\_\_\_ Phone \_\_\_\_\_  
 State/Province \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_  
 Postal Code \_\_\_\_\_ Email \_\_\_\_\_  
 Country \_\_\_\_\_  
 Member of: IEEE or IEEE/CS  IPSJ  SICE  Membership No.: \_\_\_\_\_

Registration Fees  
 Please check the appropriate fee and complete the grand total amount in German Marks (DM).

Advance Registration		Late/On-site Registration	
(received by Feb. 28)			
Member	DM 550	Member	DM 650
Non-member	DM 700	Non-member	DM 825
Student	DM 220	Student	DM 220

Members of the IEEE, IEEE/CS, IPSJ, or SICE may register by using the above member registration fee. The membership number of the sponsoring society must given on the registration form.

Student registration must attach a copy of the Student Membership Card.

The registration fee includes proceedings, coffee, three lunches, and reception. The student fee does not cover proceedings, lunches, and reception.

Hotel Reservations (Deadline\*: 28th February 1997)

Please make the following reservations:

Room Category \_\_\_\_\_ Departure \_\_\_\_\_ No. of Nights \_\_\_\_\_

Category	Single	Double
Intercontinental	<input type="checkbox"/> 302 DM	<input type="checkbox"/> 334 DM
Steigenberger**	<input type="checkbox"/> 255 DM	<input type="checkbox"/> 315 DM
A	<input type="checkbox"/> 140-160 DM	<input type="checkbox"/> 168-200 DM
B	<input type="checkbox"/> 120 DM	<input type="checkbox"/> 180 DM

Neither category nor rate can be guaranteed afterwards. \*\* Conference Hotel  
 If the desired hotel category is not available, please arrange accommodation in category \_\_\_\_\_

The hotel prices shown are per room per night and include breakfast, service charge and VAT. In all categories rooms have private bath or shower/WC.

### B. Hotel deposit (insert no. of rooms):

A deposit of one night rate plus DM 20,- reservation fee per room of the booked hotel is required. The rooms will be reserved only after receipt of the hotel deposit.

Category \_\_\_\_\_ x DM \_\_\_\_\_ = DM \_\_\_\_\_

C. Grand total (A + B) in DM \_\_\_\_\_

Please transfer the total amount, all expenses pre-paid, in German Marks (DM) simultaneously with the return of the registration form to

Hapag-Lloyd Reisebüro GmbH, Group Department, Maxstr. 3a, D-13347 Berlin, Germany;

Bremer Bank AG Bremen (Bank Code 290 800 10), Account-No.: 1023 58520, mention **Reference 800/3000**

Checks must be in DM and drawn on a German bank, personal checks cannot be accepted.

**Cancellations** should be sent in writing to Hapag-Lloyd. If received before February 28 then 50% of the registration fee will be refunded. The hotel deposit and the handling fee are not refundable. A substitution can be made at any time.

### Credit Card Payment

The fee will be in German Marks (DM).

Master/Eurocard  VISA  Diners Club

Card Number \_\_\_\_\_

Exp. Date \_\_\_\_\_

Card Holders Name \_\_\_\_\_

Signature \_\_\_\_\_

**General Chair**  
 Popescu-Zeletin, GMD FOKUS/  
 U. Berlin, Germany

**Program Committee Chairs**  
 Nehmer, U. Kaiserslautern, Germany  
 Soley, OMG, USA  
 Inoue, NTT, Japan

**Operations Committee Chair**  
 Tschammer, GMD FOKUS, Germany

**Advisory Committee**  
 Kanzow, DeTeBerkom, Germany  
 Koike, NEC, Germany

**Steering Committee**  
 Yau, Arizona State U., USA (IEEE)  
 Nishikawa, Kyoto U., Japan (SICE)  
 Ozeki, RTRI, Japan (IPSJ)

**General Information**  
 Further details of the symposium can be obtained by visiting the ISADS 97 Web site  
<http://www.fokus.gmd.de/ws/issads97>  
 or by contacting  
 Ms. Barbara Intelmann  
 GMD FOKUS  
 Hardenbergplatz 2  
 D - 10623 Berlin  
 Germany  
 Email: [isads97@fokus.gmd.de](mailto:isads97@fokus.gmd.de)  
 Phone: +49-30-25499-309/200  
 Fax: +49-30-25499-202

**The 3rd ISADS**  
 will primarily focus on advancements and innovations in Autonomous Decentralized System platforms and applications. Integration of telecommunication and computing aspects into a uniform concept for providing an open distributed processing environment is a key factor. ISADS 97 is a forum to interact with leading professionals and to establish valuable contacts.

**Symposium Site**  
 ISADS 97 will be held at the Steigenberger Hotel in the centre of Berlin, just a short walk from the Kurfürstendamm, Berlin's famous shopping boulevard. The hotel offers excellent services and is an ideal starting point for excursions.

**Plant Tour**  
 Two parallel post-symposium technical tours on Friday afternoon (2:30 - 5:00 pm) give ISADS 97 attendees the opportunity (at no additional fee) to visit:

- DeTeBerkom GmbH, a subsidiary of Deutsche Telekom AG, and the
- Production Technology Centre Berlin of the Fraunhofer Society in cooperation with the Technical University Berlin.

**Excursions**  
 Excursion and accompanying people's programs include sight-seeing tours to Berlin's main points of interest, to the nearby city of Potsdam with Sanssouci Park and Palace and to Dresden.

## 情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申 込 者					
A：会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員 No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所					
G：TEL			H：FAX		
I：e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと

J：照会先／送本先

### 「購入希望書籍」リスト

書籍名／コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1--(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2--(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3--(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4--(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5--(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6--(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 ( 月 日に送金予定) *
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 ( 月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) ( 月 日に送金予定) *
	(4) 現金持参
	(5) 現金書留
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと

N：送金名義人

O-1：請求書 通      O-2：見積書 通      O-3：納品書 通

P：請求書記載名義

Q：送金に関する照会先

申込先 (社) 情報処理学会 図書係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:tosh@ipsj.or.jp

\*e-mail での申込み：各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと.

[例] A：(1), B：999999, C：情報太郎, ... K-1-(a)：情報処理 Vol.36 No.1, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気, ...

## 書籍

## 「工学系学部における専門基礎としての情報処理教育の実態に関する調査研究報告書」(平成7年度版)頒布のお知らせ

本学会では、平成7年度文部省高等教育局から標記の調査研究の委嘱を受け、工学系学部における専門基礎としての情報処理教育について、目次概要に示す調査研究報告書を提出しました。

\*目次の詳細については<http://www.ipsj.or.jp/>をご覧ください。

- 目次概要
1. 研究の概要
  2. 討議の内容
  3. 理工系学部の専門基礎としての情報処理教育に望むもの
  4. まとめと今後の課題

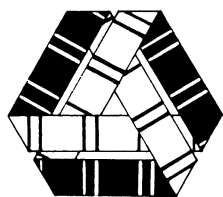
本報告書を下記によりお願いたします。

ご希望の方は情報処理学会「書籍」申込書にてお申し込みください。

頒布価格：2,000円(送料、消費税込)

書籍名(略称)：工学-H7

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です(\*：本年既掲載分、\*\*：昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手90円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く。) ○：本会主催・共催 ◆：本会協賛

1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他

## 【国際会議】

## The 4th Symposium on Bioscience and Human-Technology (6051)

1. 1997年2月5日(水)～6日(木) 2. 工業技術院筑波研究センター共用講堂(つくば市) 3. 生命工学工業技術研究所  
Tel.(0298)54-6037 Fax.54-6038

## 4th IFAC Workshop on Intelligent Manufacturing Systems '97 (6052)

1. 1997年7月21日(月)～22日(火) 2. ソウル、韓国 3. 木村文彦(東大工学研究科) Tel.(03)3812-2111(ext.6455)  
Fax.3812-8849 e-mail:kimura@cim.pe.u-tokyo.ac.jp

## ▶ International Symposium on System Life (6049)

1. 1997年7月21日(月)～22日(火) 2. 東京フォーラム 3. (社)日本機械学会 Tel.(03)5360-3500  
Fax.5360-3508

## IFIP Working Groups 3.1,3.4,3.5 Working Conference CapBIT 97:Capacity Building for Information Technologies in Education in Developing Countries (6050)

1. 1997年8月25日(月)～29日(金) 2. Harare, Zimbabwe 3. 角(日立 内) e-mail:t-kado@comp.hitachi.co.jp

## 会員の皆様へのお知らせ・お願い

### [平成9年度会費および論文誌購読費の納入について]

平成9年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を1月中旬に発送いたします。会費および購読費は前納を原則としておりますので、3月末日までにご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成8年度請求額に対する不足額（郵便振替用紙の過不足額欄にマイナス金額が表示してあります）のある正会員の方は、**大至急（1月24日必着）**ご納入ください。期日までに入金を確認できませんと、平成9年度役員選挙投票用紙の発送はいたしませんのでご留意願います。（平成8年度請求額に対して50%以上の滞納がある会員は9月号から送本を停止しております）

・口座振替納入の方には「口座振替のご案内」を発送いたします。平成9年3月27日（木）にご指定の口座から振替いたしますので、預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご注意ください。

なお、銀行口座を変更される場合には、新規登録と同様に「預金口座振替依頼書」を下記照会先までお送りください。  
**変更締切：平成9年2月14日（金）事務局必着**

### [会費および論文誌購読費の口座自動振替納入のご利用について]

平成9年度会費・購読費の納入には、手続きが簡単で便利な口座自動振替をおすすめします。個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月（または7月）27日（土日、祝祭日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により納入することができます。ぜひ口座自動振替制度をご利用ください。

平成9年度より本制度をご利用いただく場合には、平成9年2月7日（金）までに申込を完了してください。なお、期日までに申込を完了された方は、1月中旬に発送する郵便振替用紙による納入は不要です。手続き等の詳細につきましてはVol.37-No.10をご参照ください。

### [大学学部および修士・博士課程卒業予定の学生会員の方へ]

来年3月学部卒業（修士・博士課程修了）予定の学生会員の方には、平成9年度会費は正会員（9,600円）として請求いたします。引続き修士課程・博士課程へ進まれる方は学生会員（4,800円）として継続できますので、郵便振替用紙の請求額を訂正の上ご送金ください。その際、進学コース・修了予定年月などその旨を通信欄にご記入いただくか、e-mailなどで必ずご連絡ください。また、卒業にともなう機関誌送付先変更連絡も同様に会員番号を必ず明記の上ご連絡ください。会員資格は自動継続になっております。

### [論文誌のご購読について]

「論文誌」（月刊）は有料頒布です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをお勧めいたします。新規購読を希望される方は、1月中旬に発送する郵便振替用紙の通信欄にその旨をご記入いただき、論文誌購読費6,930円（消費税込）を加算の上ご送金ください。

### [「情報処理学会論文誌」購読料について]

平成9年度より消費税率の変更などともない論文誌の購読料が次のとおりとなります。

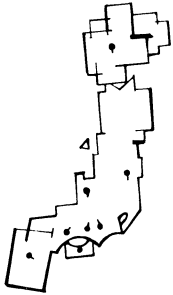
・年間購読料	会 員	6,930円（購読料 6,600円＋消費税 330円）
	賛助会員	6,930円（購読料 6,600円＋消費税 330円）
	国内購読員	28,224円（購読料 26,880円＋消費税 1,344円）
	非 会 員	17,010円（購読料 16,200円＋消費税 810円）

### [機関誌のポリエチレンフィルム包装実施について]

学会誌、論文誌の機関誌をVol.38-No.1よりポリエチレンフィルム（無公害）包装で発送いたします。開封後は可燃ごみとして処理できます。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

照 会 先 社団法人 情報処理学会 会員係  
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F  
e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

## 支部だより



## 情報処理学会支部連絡先

北海道支部	〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内 e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel.(011)706-6819 Fax.(011)706-6819
東北支部	〒982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学通信工学科内 e-mail:SJK11802@mgw.shijokyo.or.jp Tel.(022)229-1151(ext.368) Fax.(022)228-0447
東海支部	〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内 e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel.(052)204-4517 Fax.(052)204-4521
北陸支部	〒910 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部情報工学科小倉研究室内 e-mail:ipsjhokuriku@rook.fuis.fukui-u.ac.jp Tel.(0776)27-8586 Fax.(0776)27-8751
関西支部	〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター気付 e-mail:infor-soci@kiis.or.jp Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443
中国支部	〒739 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第2類(電気系)内 e-mail:nakamura@eml.hiroshima-u.ac.jp Tel.(0824)24-7663 Fax.(0824)22-7195
四国支部	〒790-77 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部内 e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel.(089)927-9963 Fax.(089)927-9973
九州支部	〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル NTT データ通信(株)九州支社総務担当内 e-mail:tani@csce.kyushu-u.ac.jp Tel.(092)475-5123 Fax.(092)475-5185
* 各支部の最新情報は <a href="http://www.ipsj.or.jp">http://www.ipsj.or.jp</a> からリンクしています。	

## 東海支部 講演会

時	平成9年1月22日(水) 13:00~15:00
場	三重大学工学部 20番教室
題	コンピュータ・グラフィックスにおける忠実な色再現・表示技術ー自動車カラーデザインへの応用ー
師	高木 淳氏(トヨタ自動車(株)EC推進室)
加費	無料(参加資格は問いません)
会先	〒514 津市上浜町1515 三重大学工学部電気電子工学科 鶴岡信治 Tel.(0592)31-9390 Fax.(0592)31-9471

## 四国支部 講習会「ソフトウェア開発の現状と将来」

時	平成9年1月22日(水) 13:00~17:00
場	愛媛大学工学部 4号館 第19番教室(松山市文京町3番)
プログラム	13:00~13:10 「支部長挨拶」 高松雄三氏(愛媛大) 13:10~14:20 「ソフトウェア保守と西暦2000年対策」 上原三八氏(富士通研) 14:20~15:30 「コンポーネントウェア:ソフトウェア CALS のめざす次世代ソフトウェア開発像」 青山幹雄氏(新潟工科大) 15:30~15:40 「休憩」 15:40~16:50 「イントラネット・アプリケーション開発技術」 山本修一郎氏(NTT) 16:50~17:00 「質疑応答」 全講師
員	80名(定員に達し次第締め切ります)
加費	会員 4,000円, 会員外 5,000円, 学生 1,000円
方法	はがき, FAX, または, e-mail にて「ソフトウェア開発の現状と将来」に関する講習会申込と標記し, 1.氏名, 2.会員, 非会員 or 学生の区別, 3.所属(勤務先 or 大学名), 4.連絡先, 5.電話番号, 6.送金日, 送金額を記入して, 下記申込先宛にお申し込みください。また, 参加費は銀行振込または現金書留にてご送金ください。
金先	伊予銀行一万支店 普通預金 口座番号 1663755 情報処理学会四国支部
込先	〒790-77 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学工学部情報工学科 山田宏之 Fax(089)927-9973 e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp

## 九州支部 第11回九州支部研究会のお知らせ

## 論文募集について

野	情報科学, 情報工学に関連した全分野
込み	論文題目, 発表者, 所属, 連絡先, アブストラクト(100字)を1月31日までに下記にお送りください。

- 採録通知** 論文発表はできる限り受けつける予定ですが、希望の多い場合には制限させていただく場合があります。都合により採録できない論文については、2月5日までにご連絡いたします。
- 原稿提出** 予稿の形式は情報処理学会研究会に準じます。原稿はA4縦に使った横書き（左右マージン各2.2cm、上マージン3.2cm、下マージン2.5cm、36字×43行程度）で10ページまでとし、直接オフセット印刷できるものとします。第1ページは表紙とし、上半分には日本語で、下半分には英語で、論文題目、著者名、所属、アブストラクト（300字／100語）を記入してください。最終原稿は、A4用紙に登壇発表者名、生年月日、所属、連絡先を記入した連絡票とともに、2月15日まで下記にお送りください。

[2] 研究会日程について

日 時 平成9年3月17日（月）10：00～17：00  
会 場 九州工業大学情報工学部 福岡県飯塚市大字川津 680-4

[送付先・照会先] 〒820 飯塚市川津 680-4 九州工業大学情報工学部知能情報工学科 江島俊朗  
Tel.(0948)29-7615 Fax.(0948)29-7601 e-mail:toshi@ai.kyutech.ac.jp

---

【国内会議】

- 
- ◆第233回講習会「情報技術とハイテク医療」  
1. 平成9年1月31日（金） 2. 中大駿河台記念館（都内千代田区） 3. （社）精密工学会 Tel.(03)3362-1979 Fax.3367-0994
- 
- ◆第9回自律分散システム・シンポジウム  
1. 平成9年1月16日（木）～17日（金） 2. 北大学術交流会館（札幌市北区） 3. （社）計測自動制御学会 Tel.(03)3814-4121 Fax.3814-4699
- 
- ◆日本応用磁気学会第98回研究会、第10回光スピニクス専門研究会  
1. 平成9年1月30日（木）～31日（金） 2. 湯河原厚生年金会館（熱海市） 3. （社）日本応用磁気学会 Tel.(03)3272-1761 Fax.3272-1760
- 
- ◆第46回システム制御情報学会講習会  
1. 平成9年2月4日（火）～5日（水） 2. （大阪）住友電設（株）大阪本社（大阪市西区）（東京）住友電設（株）東京本社（都内港区） 3. システム制御情報学会 Tel.(075)751-6413 Fax.751-6037
- 
- ◆神奈川科学技術アカデミー平成8年度第Ⅳ期「企業マネージャーのためのパソコン・インターネット活用術コース～キーボード操作方法からインターネットのビジネス活用まで～」  
1. 平成9年2月8日（土）、15日（土）、22日（土） 2. 神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区） 3. （財）神奈川科学技術アカデミー Tel.(044)819-2033 Fax.819-2026
- 
- ◆第2回日本計算工学会講演会  
1. 平成9年5月28日（水）～30日（金） 2. 中大駿河台記念館（都内千代田区） 3. 日本計算工学会（（株）アイシーエス企画内） Tel.(03)3271-0789 Fax.3273-2445
- 
- ◆第2回日本計算工学会講演会  
1. 平成9年5月28日（水）～30日（金） 2. 中大駿河台記念館（都内千代田区） 3. 日本計算工学会（（株）アイシーエス企画内） Tel.(03)3271-0789 Fax.3273-2445
- 
- ◆ロボティクス・メカトロニクス講演会  
1. 平成9年6月7日（土）～8日（日） 2. 神奈川工科大（厚木市） 3. （社）日本機械学会 Tel.(03)5360-3500 Fax.5360-3508 <http://www.aist.go.jp/NIBH/~robomec/>
- 
- ◆ソフトウェア・シンポジウム '97  
1. 平成9年6月18日（水）～20日（金） 2. 福岡ソフトリサーチパーク（福岡市） 3. ソフトウェア技術者協会 Tel.(03)3356-1077 Fax.3356-1072
- 
- ◆3次元画像コンファレンス '97  
1. 平成9年7月9日（水）～10日（木） 2. 工学院大（都内新宿区） 3. 実行委員会（（株）精機通信社内） Tel.(03)3367-0571 Fax.3368-1519
- 
- ◆第15回日本ロボット学会学術講演会  
1. 平成9年9月12日（金）～14日（日） 2. 中大理工学部（都内文京区） 3. （社）日本ロボット学会 Tel.(03)3812-7594 Fax.3812-4628
-



## 人材募集



### ●姫路工業大学工学部情報工学科

募集人員 助手1名(情報工学科知能工学講座)  
 担当科目 知能情報工学(ニューロコンピューティング等含む)、画像解析、計算機実習・情報工学実験・演習指導等  
 応募資格 博士の学位を有するかまたは近い将来取得可能で教育・研究に熱意を有する30歳ぐらいまでの方  
 着任時期 平成9年4月1日  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、推薦書、研究抱負(1000字程度)  
 応募締切 平成8年12月20日  
 照会先 〒671-22 兵庫県姫路市書写2167 姫路工業大学情報工学科 奈倉理一  
 e-mail:nagura@comp.eng.himeji-tech.ac.jp Tel.(0792)66-1661(代表) Tel./Fax.(0792)67-4992(直通)  
 \*先月号分は県名が誤っておりましたのでご注意ください。

### ●理化学研究所

募集人員 職員(技師)1名  
 所属 電子計算機室  
 専門分野/業務 情報科学、計算機科学、計算科学、計算工学、その他計算機使用を必要とする理工学/スーパーコンピュータシステム管理、チューリング支援、コンピュータネットワーク管理  
 応募資格 年齢35歳以下(平成9年2月1日現在)で新しい仕事を開拓する意欲のある方、スーパーコンピュータ使用、もしくはコンピュータネットワークに関する経験があることが望ましい  
 着任時期 平成9年4月  
 提出書類 履歴書、論文リスト、主要論文別刷、研究歴、職歴、採用後の抱負  
 応募締切 平成9年1月15日  
 送付先/照会先 〒351-01 埼玉県和光市広沢2-1 理化学研究所電子計算機室 室長 戎崎俊一  
 Tel.(048)462-1111(ext.3621)  
 その他 待遇は当所給与規定による。

### ●尚美学園短期大学

募集人員 助教授・専任講師または兼任講師 若干名  
 専門分野 情報処理、電子音楽、コンピュータグラフィックス、マルチメディア等  
 応募資格 大学院博士課程修了またはこれと同等以上の業績を有する方  
 着任時期 平成9年4月1日  
 提出書類 履歴書、教育研究業績書、代表的な著書または論文の別刷、他  
 応募締切 平成9年1月16日 \*資料を提出いただいた方から順次面接を行います  
 勤務地 埼玉県川越市下松原655  
 送付先/照会先 〒113 東京都文京区本郷4-15-9 尚美学園法人本部総務部 西岡  
 Tel.(03)3816-6731 Fax.(03)3812-4757

## ●立命館大学工学部情報学科

募集人員 (1) 教授または助教授 1 名, (2) 助教授 1 名  
専門分野 (1) セキュリティ基礎技術およびその応用に関する分野 (暗号技術, 認証技術, ネットワークセキュリティ, サイバースペース (電子商取引分野) など), (2) 確率解析, 統計学  
応募資格 博士の学位を有し, 上記専門分野の研究業績があること. 専門分野関連科目のほかに, 情報処理演習, 情報学実験などが担当できること.  
(1) は情報理論, 符号理論も担当できること, (2) は着任時 35 歳以下であることが望ましい  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書 (教育歴 (担当科目等) が分かるように書くこと), 研究業績リスト, 主要論文別刷, 研究と教育に対する抱負 (2000 字程度) (健康診断書は不要ですが, 採用決定までに立命館大学保健センター健康診断を受けていただく必要があります.)  
応募締切 平成 9 年 1 月 16 日 (必着)  
送付先 〒 525-77 滋賀県草津市野路町 1916 立命館大学工学部情報系 学系長 房岡 璋  
照会先 工学部情報学科教授 小川 均 Tel.(0775)61-2697 (直通) Fax.(0775)61-2669  
e-mail:ogawa@cs.ritsumeai.ac.jp

## ●静岡大学情報学部情報科学科

募集人員 助手 1 名  
所属 知識科学講座  
専門分野 音声情報処理, 知識工学, 人工知能, 自然言語処理, マンマシンインタフェース  
応募資格 博士の学位を有するか (取得見込み含む) または同等以上の業績を有する方で, 演習・実験等を担当可能な年齢 32 歳以下の方が望ましい  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷 (コピー可), 研究と教育に対する抱負, 応募者に関する所見を求めうる方 2 名の氏名・連絡先・電話番号  
応募締切 平成 9 年 1 月 20 日  
送付先/照会先 〒 432 静岡県浜松市城北 3-5-1 静岡大学情報学部情報科学科 教授 北澤茂良  
Tel.(053)478-1471 Fax.(053)475-4595 e-mail:kitazawa@cs.inf.shizuoka.ac.jp

## ●日本原子力研究所平成 9 年度博士研究員

募集人員 30 名程度  
研究分野 先端基礎研究, 量子科学, 中性子科学, 計算科学, 核融合研究および原子力基盤技術等 (電話, インターネット等で平成 9 年度の募集テーマをご確認ください.)  
応募資格 応募時に 35 歳未満で博士号取得者 (見込み含む). 日本国に永住権を有さない外国人は, 別に定める条件を満たす方  
着任時期 平成 9 年 4 月 1 日以降  
提出書類 当研究所指定の申込書, 卒業証明書, 修了証明書, 成績証明書 (学士, 修士, 博士課程のもの), 推薦書  
応募締切 平成 9 年 1 月 22 日 (必着)  
送付先/照会先 〒 100 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル  
日本原子力研究所人事部人事課 根本, 金子, 石井 Tel.(03)3592-2175, 2076 Fax.(03)3592-2179  
http://www.jaeri.go.jp e-mail:saiyo@hems.jaeri.go.jp 書留で送付のこと

## ●愛媛大学工学部情報工学科

- 募集人員 教授1名  
 専門分野 知的コミュニケーション（通信ネットワーク、グループウェア、CSCW）  
 情報ネットワーク、知的分散処理、人工知能などの講義を担当していただく予定  
 応募資格 博士後期課程の研究指導が可能で、年齢50歳以上の方が望ましい  
 着任時期 なるべく早い時期  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、論文、国際会議論文に分類）、これまでの研究概要（1000字以内）、これからの研究計画（1000字以内）  
 応募締切 平成9年1月31日  
 送付先／照会先 〒790 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部情報工学科 村上研二  
 Tel.(089)927-9958 Fax.(089)927-9973 e-mail:murakami@cs.chime-u.ac.jp

## ●島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

- 募集人員 助手1名  
 所属 計算機科学講座  
 専門分野 情報科学または情報工学  
 応募資格 博士の学位を有する方が望ましい  
 着任時期 平成9年4月1日  
 提出書類 履歴書、研究業績一覧、主要論文別刷（コピー可）、これまでの研究・業績の概要、参考意見をいただける方の氏名と連絡先  
 応募締切 平成9年1月31日  
 送付先／照会先 〒690 島根県松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部数理・情報システム学科 小林康幸  
 Tel.(0852)32-6471 Fax.(0852)32-6489 「教官応募書類在中」と朱書き書留

## ●国際基督教大学教養学部理学科

- 募集人員 助教授以上1名  
 専門分野 計算機科学を専門とし、下記科目のいくつかを担当できる方  
 担当科目 プログラミング関係：初等プログラミング、C言語、オブジェクト指向プログラミング  
 システムプログラム関係：UNIXプログラミング、オペレーティングシステム、ネットワーク・プロトコル、インターネット  
 アーキテクチャ関係：計算機アーキテクチャ、計算機ネットワーク、コンパイラ、データベース、コンピュータ・リテラシー  
 応募資格 博士号を有し、大学院（修士課程）を担当できる方（赴任時に学位取得が確実な方を含む）  
 着任時期 遅くとも平成9年9月1日までに着任できる方  
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、いままでの研究の概要、本人に関する所見を求めうる方3名の氏名と連絡先、本人のキリスト教信仰について証することのできる牧師またはこれに準ずる方の氏名と連絡先、所定の履歴書書式をご請求ください。  
 応募締切 適任者が決まり次第  
 送付先／照会先 〒181 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学理学科 田中武二  
 Tel.(0422)33-3293 Fax.(0422)33-1449 e-mail:takeji@icu.ac.jp  
 「教員応募書類在中」と朱書き書留

## 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

## 記

## 1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワーク ショップ，講演会，講習会等の論 文募集・参加者募集に限る。	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 50,000 円
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機 関，賛助会員の人材募集	10 行程度	(国公私立教育機関，国国立研究機関) 20,000 円 (賛助会員 (企業)) 30,000 円

## 2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

## 3. 原稿の書き方

行事次第書：原則として B5 判カメラレディとします。B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います。なお，フロッピーディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください。

人 材 募 集：求人側の必要事項を明記し，e-mail または FAX，郵送にてお送りください。

## 4. 申込期限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

## 5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

## 6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:editj@ipsj.or.jp